
InCircle 管理コンソール 操作マニュアル V18.0



ブルーテック株式会社

目次

第1章. はじめに	5
1.1. 本マニュアルについて.....	5
1.2. InCircle を利用するには.....	5
第2章. 動作環境と制限	6
2.1. 動作環境.....	6
2.2. 制限事項.....	6
第3章. ユーザとグループ	7
3.1. 新規ユーザ登録.....	7
3.2. ユーザの検索.....	12
3.3. ユーザの編集.....	13
3.4. ユーザの削除.....	14
3.5. ユーザを[無効]にする.....	15
3.6. グループの新規登録.....	16
3.7. グループの検索.....	17
3.8. グループの編集.....	18
3.9. グループの削除.....	19
3.10. グループ間アクセス設定を有効にする.....	20
3.11. グループ間アクセス設定を無効にする.....	22
3.12. グループ間アクセス設定 グループ毎のアクセス設定 その1(変更画面).....	24
3.13. グループ間アクセス設定 グループ毎のアクセス設定 その2(一覧画面).....	27
3.14. ユーザとグループの一括登録 CSV ファイル手動登録.....	30
3.15. ユーザとグループの一括登録 CSV ファイル自動登録.....	33
3.16. ユーザの一括出力.....	34
第4章. アクセス端末	35
4.1. アクセス端末の制限設定.....	35
4.2. 新規端末コードの登録(共有端末).....	38
4.3. 端末コードの検索(共有端末).....	39
4.4. 端末コードの編集(共有端末).....	40
4.5. 端末コードの削除(共有端末).....	41
4.6. 共有端末の一括登録.....	42
4.7. CSV 一括出力(共有端末).....	45
4.8. 個人端末の一括削除.....	46
4.9. CSV 一括出力(個人端末).....	49
4.10. 個人端末認証情報の確認.....	50
4.11. 個人端末認証情報の削除.....	52
4.12. アプリ認証.....	53

第5章. ポリシー設定	54
5.1. ファイル設定.....	54
5.2. トーク削除の設定.....	57
5.3. システムメッセージ通知の設定.....	59
5.4. パスワード設定 (パスワードポリシーの設定).....	60
5.5. パスワード設定 (アカウントロックの手動解除).....	63
5.6. トークとメッセージの設定.....	65
5.7. 位置情報の設定.....	66
5.8. ユーザ情報の設定.....	67
5.9. パスコード設定.....	69
第6章. スタンプ	71
6.1. スタンプ機能を有効(無効)にする.....	71
6.2. スタンプの新規登録.....	72
6.3. スタンプの検索.....	74
6.4. スタンプの編集.....	75
6.5. スタンプの削除.....	76
6.6. スタンプ画像の登録.....	77
第7章. API	79
7.1. API 設定.....	79
7.2. API ユーザの登録.....	81
7.3. API ユーザのアクセストークン作成.....	82
7.4. API ユーザのアクセストークン削除.....	84
7.5. Webhook の設定.....	86
7.6. API 利用料の確認.....	91
第8章. シングルサインオン	92
8.1. SAML 認証.....	92
第9章. システム	93
9.1. ライセンス数の確認.....	93
9.2. コンソールの操作ログ.....	94
第10章. ダッシュボード	95
10.1. 利用統計をみる.....	95
10.2. 利用・非利用ユーザー一覧.....	97
第11章. メッセージ情報の出力(監査機能)	98
11.1. 監査ユーザの登録.....	98
11.2. メッセージの出力.....	99
11.3. 出力ファイルのダウンロード.....	100

第 12 章. モニタリング機能(監査機能)	103
12.1. モニタリングポリシーの登録	104
12.2. モニタリングポリシーの検索	107
12.3. モニタリングポリシーの編集	108
12.4. モニタリングポリシーの削除	109
12.5. モニタリング結果の確認	110

第1章. はじめに

1.1. 本マニュアルについて

このたびは弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本書は管理者様向け「InCircle 管理コンソール」の初期設定、および各メニューの使用方法について記載しています。

1.2. InCircle を利用するには

- 1) まず(お客様専用の)InCircle 管理コンソール URL にアクセスし、初期期設定および利用ユーザの登録をします。
- 2) 次に InCircle アプリケーションを 1)で登録した利用ユーザの端末にインストールします。

第2章. 動作環境と制限

2.1. 動作環境

1. システム条件

InCircle 管理コンソール

対応ブラウザ

下記サイトをご確認ください。

<https://www.bluetec.co.jp/incircle/features/list/>

※上記に記載のないバージョンでも問題なくご利用頂ける場合がございますが、動作についてはサポート対象外となります。

※動作環境に記載されているブラウザの種類は、ブラウザのサポート終了、改良などの理由により予告なく変更される場合があります。

2.2. 制限事項

・仮想環境（例：Hyper-V、Virtual パソコン、VMware、Parallels など）や、Boot Camp 上の Windows 環境での動作保証はいたしかねます。

第3章. ユーザとグループ

3.1. 新規ユーザ登録

メニュー [ユーザとグループ]> [新規ユーザ登録]を選択します。新規ユーザ情報を入力し、[保存]ボタンを押下します。

本画面にてユーザにグループを設定する場合は、[グループの新規登録]で事前にグループを登録しておく必要があります。

※ユーザ数をご契約ライセンス数に達しますと新規ユーザの登録できません。

また、システム管理者、ユーザ管理者、監査ユーザ、API ユーザ(SaaS 版)はライセンス対象外となります。

ダッシュボード ユーザとグループ > 新規ユーザ登録

ユーザID*

アクセス権限* 標準ユーザ ※システム管理者、ユーザ管理者、監査ユーザおよびAPIユーザは、登録後アクセス権限を変更できません

パスワード 確認入力

表示名称*

メールアドレス

電話番号1

電話番号2

電話番号3

電話番号4

ユーザ名(ふりがな) 姓 名

ユーザ名(ローマ字) 姓 名

言語 日本語

タイムゾーン Asia/Tokyo

ユーザ画像

グループ

その他

一斉同報送信 許可する 許可しない

ゲストユーザへの表示 表示する 表示しない

保存

version: 14.0.82.0
© AOS Technologies, Inc.

ユーザ ID (必須)

ユーザ ID を入力します。256 文字以下の半角英数記号を設定します。

利用可能な記号文字は以下です。

```
!@#$%^&*-_+={}|~?/><0;
```

ユーザが InCircle ログイン時に使用します。

※ユーザ ID を”0”から始まる数字のみで作成した場合、CSV ファイルを使ってユーザ情報を更新する際、Excel などを開くと、編集するソフトの仕様により先頭の”0”が欠落する場合がありますためご注意ください。1 文字以上の文字を含めると本事象を回避することができます。

アクセス権限 (必須)

[ゲストユーザ][標準ユーザ][API ユーザ][監査ユーザ][ユーザ管理者][システム管理者]から選択します。各アクセス権限については以下を参照ください。

※ユーザ登録後、[API ユーザ][監査ユーザ][ユーザ管理者][システム管理者]のアクセス権限の変更はできません。

【各アクセス権限について】

・システム管理者

管理コンソール専用ユーザです。メッセージ出力機能(監査機能)以外のすべての管理機能が利用できます。

・ユーザ管理者

管理コンソール専用ユーザです。ユーザとグループを管理する機能のみ利用できます。ユーザ管理者が管理できるユーザは[標準ユーザ]と[ゲストユーザ]のみです。

・監査ユーザ

管理コンソール専用ユーザです。メッセージ出力機能(監査機能)のみ利用できます。

・標準ユーザ

クライアント専用ユーザです。クライアントのすべての機能が利用できます。

・ゲストユーザ

クライアント専用ユーザです。制限付きのユーザとなり、チャット機能のみ利用できます。[人]情報の閲覧が禁止されており、新しいトークの作成ができないため、招待専用となります。また、自らトークを退出するもできません。

・API ユーザ

API 接続専用ユーザです。外部システムと API 連携する際に利用します。

パスワード (必須)

パスワード入力します。

利用可能な記号文字は以下です。

!@#\$%^&*-_+={}|¥;,:?/\~"<>();

※「¥(円マーク)」を設定した場合、iOS アプリや Mac 環境では「バックスラッシュ」の入力が必要となります。ご注意ください。

ユーザが InCircle ログイン時に使用します。

表示名称 (必須)

表示名称を入力します。36 文字以下を設定します。

※半角大文字小文字の 3 文字で構成された文字列[All(ALL、all など含む)]という表示名称はシステムが使用する文字列であるため登録できません。

[サンプル All]など他の文字を含む名称は登録可能です。

メールアドレス

メールアドレスを入力します。プロフィール画面に表示されます。

電話番号1、電話番号2、電話番号3、電話番号4

電話番号を入力します。プロフィール画面に表示されます。

ユーザ名 (ふりがな)

ユーザ名 (ふりがな)を入力します。姓名ともに 18 文字以下を設定します。

※アプリケーションでは表示されません。

ユーザ名 (ローマ字)

ユーザ名 (ローマ字)を入力します。姓名ともに 36 文字以下を設定します。

※アプリケーションでは表示されません。

言語

言語を選択します。

管理コンソール利用時、ブラウザ利用時に本設定値が反映されます。

タイムゾーン

タイムゾーンを設定します。

ユーザ画像

ユーザ画像はユーザ編集からのみ設定できます。

グループ

【標準ユーザ・ゲストユーザ・API ユーザの場合】

テキストボックスをクリックし、あらかじめ登録されているグループ名からグループを指定します。

メモ

複数グループの設定が可能です。

複数グループを設定した際は、最初に設定したグループ名が InCircle アプリを起動時 [人]タブに表示されます。



【監査ユーザ・ユーザ管理者の場合】

監査するグループ、またはユーザ管理するグループで[下記で指定したグループ]を選択した場合、管理対象となるグループを指定します。

【全ユーザ共有】

ユーザに登録できるグループは最大で 50 グループです。

その他

その他情報を入力します。

※アプリケーションのプロフィールに一部表示されます。(表示量は端末より異なります)

一斉同報送信

一斉同報送信の利用について設定します。

一斉同報送信機能を利用可能とするユーザは、[許可する]を選択します。

※ゲストユーザは[許可しない]が設定されます。

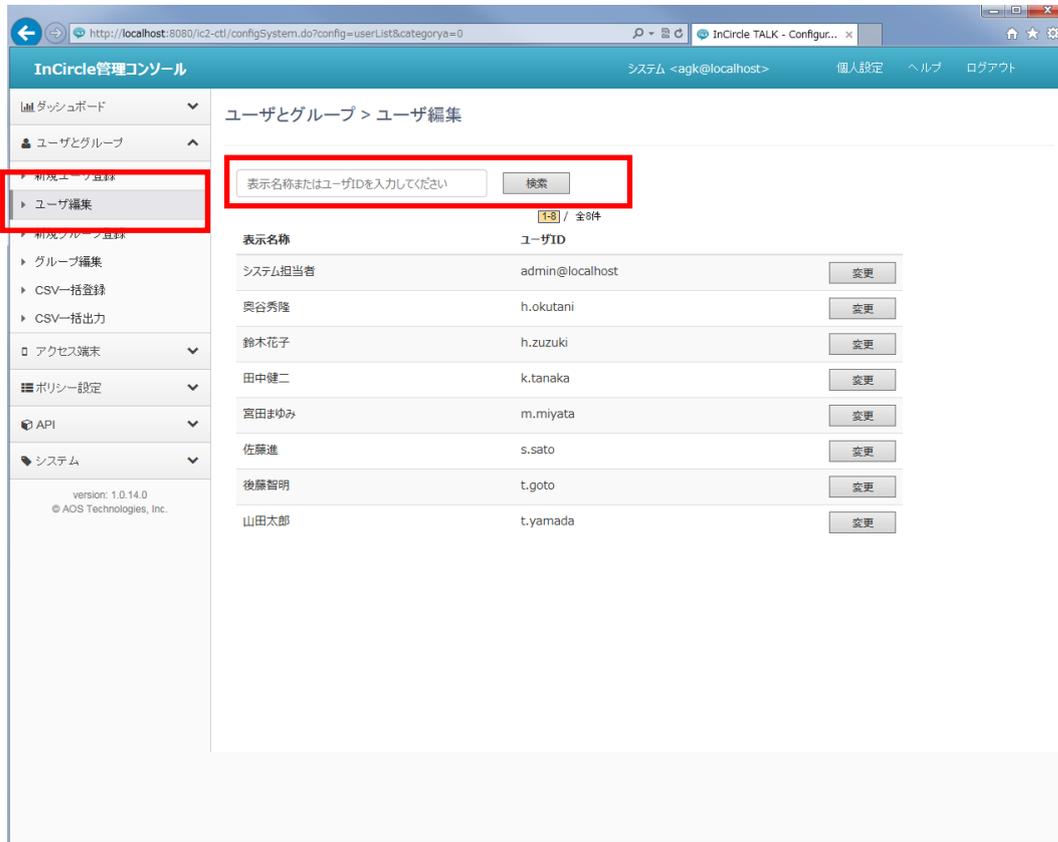
ゲストユーザへの表示

ゲストユーザへの表示について設定します。

通常、ゲストユーザでログインした場合は他のユーザを閲覧することはできません。本設定で[表示する]と設定したユーザはゲストユーザからも閲覧が可能となります。

3.2. ユーザの検索

メニュー [ユーザとグループ]> [ユーザ編集] を選択します。検索ボックスに表示名称、またはユーザ ID を入力し、[検索] ボタンを押下します。



The screenshot shows the InCircle management console interface. The left sidebar contains a menu with 'ユーザ編集' (User Edit) highlighted in red. The main content area is titled 'ユーザとグループ > ユーザ編集'. At the top of this area, there is a search input field with the placeholder text '表示名称またはユーザIDを入力してください' and a '検索' (Search) button, both highlighted in red. Below the search field, there is a table of users with columns for '表示名称' (Display Name) and 'ユーザID' (User ID). Each row has a '変更' (Edit) button. The table contains the following data:

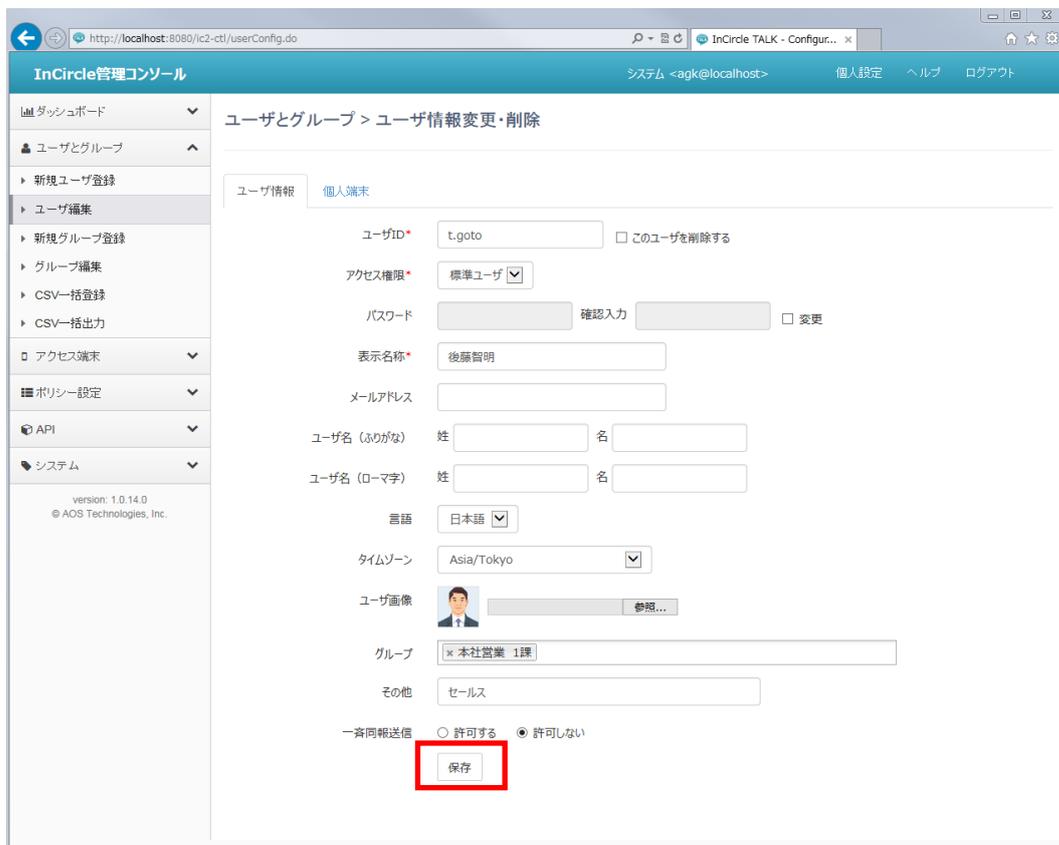
表示名称	ユーザID	
システム担当者	admin@localhost	変更
奥谷秀隆	h.okutani	変更
鈴木花子	h.zuzuki	変更
田中健二	k.tanaka	変更
宮田まゆみ	m.miyata	変更
佐藤進	s.sato	変更
後藤智明	t.goto	変更
山田太郎	t.yamada	変更

3.3. ユーザの編集

1. [ユーザとグループ] > [ユーザ編集] で編集するユーザの[変更]ボタンを押下します。



2. ユーザ情報を変更し、[保存]ボタンを押下します。



3.4. ユーザの削除

1. ユーザ編集画面にて[このユーザを削除する]をチェックし、[保存]を押下します。

The screenshot shows the 'InCircle管理コンソール' (InCircle Management Console) interface. The main content area is titled 'ユーザとグループ > ユーザ情報変更・削除' (Users and Groups > User Information Change/Deletion). The 'ユーザ情報' (User Information) tab is active, and the '個人端末' (Personal Device) sub-tab is selected. The user ID is 't.goto'. A red box highlights the checkbox labeled 'このユーザを削除する' (Delete this user), which is checked. Below the form, another red box highlights the '保存' (Save) button. The form includes fields for 'ユーザID', 'アクセス権限', 'パスワード', '表示名称', 'メールアドレス', 'ユーザ名 (ふりがな)', 'ユーザ名 (ローマ字)', '言語', 'タイムゾーン', 'ユーザ画像', 'グループ', and 'その他'. The '一言同報送信' (Send one-line report) section has '許可しない' (Do not allow) selected.

2. 確認画面で[OK]を押下します。



3.5. ユーザを[無効]にする

ユーザを無効にすると、すべての端末から強制ログアウトされ、当該ユーザ ID でログイン不可となります。

1. ユーザ編集画面にてステータス[無効]に変更し、[保存]を押下します。

The screenshot shows the 'InCircle TALK - Configur...' web interface. The main content area is titled 'ユーザとグループ > ユーザ情報変更・削除'. Under the 'ユーザ情報' tab, the 'ユーザ操作' sub-tab is active. The form contains the following fields and options:

- ユーザID*: sample1 このユーザを削除する
- アクセス権限*: 標準ユーザ
- パスワード: 確認入力: 変更
- ステータス: 無効 (利用停止) (highlighted with a red box)
- 表示名称*: 後藤智明
- メールアドレス:
- 電話番号:
- ユーザ名 (ふりがな): 姓 名
- ユーザ名 (ローマ字): 姓 名
- 言語: 日本語
- タイムゾーン: Asia/Tokyo
- ユーザ画像:
- グループ: * 本社営業 1課
- その他:
- 一言同報送信: 許可する 許可しない
- (highlighted with a red box)

2. 確認画面で[OK]を押下します。

This screenshot shows the same user configuration page as above, but with a confirmation dialog box overlaid. The dialog box is titled 'Web ページからのメッセージ' and contains the following text:

このユーザを無効 (利用停止) にします。無効にしたユーザは強制ログアウトされ、ログイン不可となります。よろしいですか？

The dialog has two buttons: 'OK' (highlighted with a red box) and 'キャンセル'.

3.6. グループの新規登録

メニュー [ユーザとグループ]>[新規グループ登録] を選択します。新規グループ情報を入力し、[保存]ボタンを押下します。**※登録可能なグループ数は 1200 グループです。**

The screenshot shows the 'InCircle管理コンソール' interface. The left sidebar has a menu with '新規グループ登録' highlighted in red. The main content area is titled 'ユーザとグループ > 新規グループ登録'. It contains the following fields and options:

- グループ順序 *必須: 1000000000
- グループ名 *必須: [Empty text box]
- 親グループ: なし (dropdown menu)
- グループ間アクセス設定:
 - 相互に閲覧可能
 - 相互に閲覧不可

Below the radio buttons, there is explanatory text: '[相互に閲覧可能]を選択すると、すでに登録されているすべてのグループとこのグループ間で相互に閲覧できます。[相互に閲覧不可]を選択すると、すでに登録されているすべてのグループとこのグループ間で相互に閲覧できません。詳細な設定は登録後、[ユーザとグループ>グループ編集]にて設定してください。' A '保存' button is highlighted with a red box at the bottom of the form.

グループ順序 (必須)

グループを表示する順番を入力します。グループ一覧では昇順で表示されます。

グループ名 (必須)

グループ名を入力します。20 文字以下を設定します。

親グループ

グループを階層表示する場合は、親グループを設定します。

グループ間アクセス設定

グループ間のアクセス設定について設定します。

※[グループ間アクセス設定]オプションを申し込まれていない場合、自動的に[相互に閲覧可能]が選択されます。

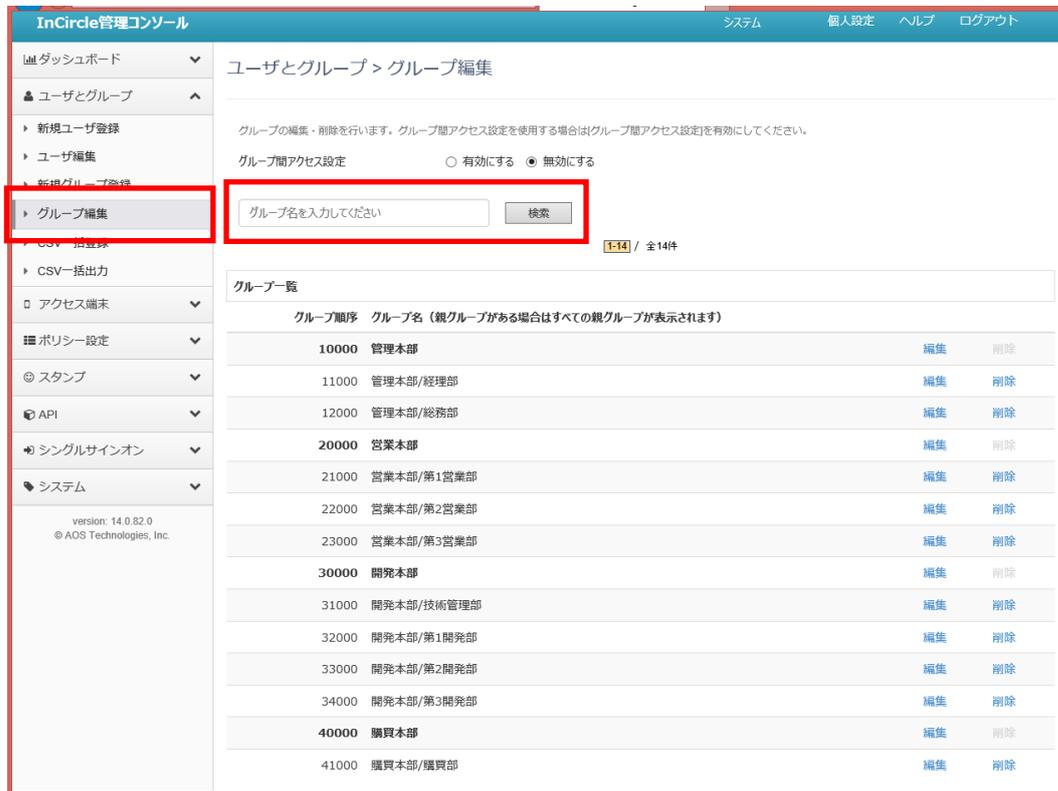
[相互に閲覧可能]を選択すると、すでに登録されているグループに対して、新規に登録するグループは相互に閲覧可能となります。

[相互に閲覧不可]を選択すると、すでに登録されているグループに対して、新規に登録するグループは相互に閲覧不可となります。

3.7. グループの検索

メニュー [ユーザとグループ]> [グループ編集] を選択します。検索ボックスにグループ名を入力し、[検索]ボタンを押下します。

※グループ間アクセス設定はオプションです。こちらの機能については「グループ間アクセス設定を有効にする」を参照してください。



第1階層グループは、太字で表示されます。

第2から第5階層に設定されているグループは、すべての親グループが[]区切りで表示されます。

(例)

「親グループ(第1階層)」

| - 「子グループ 01(第2階層)」

| | - 「子グループ 01-01(第3階層)」

○「親グループ(第1階層)」の表示

親グループ(第1階層)

○「子グループ 01(第2階層)」の表示

親グループ/子グループ 01

○「子グループ 01-01(第3階層)」の表示

親グループ/子グループ 01/子グループ 01-01

3.8. グループの編集

1. [ユーザとグループ]> [グループ編集]で編集するグループの[編集]を押下します。

InCircle管理コンソール

ユーザとグループ > グループ編集

グループの編集・削除を行います。グループ間アクセス設定を使用する場合は(グループ間アクセス設定)を有効にしてください。

グループ間アクセス設定 有効にする 無効にする

グループ名を入力してください

1-14 / 全14件

グループ一覧

グループ順序	グループ名 (親グループがある場合はすべての親グループが表示されます)	編集	削除
10000	管理本部	編集	削除
11000	管理本部/経理部	編集	削除
12000	管理本部/総務部	編集	削除
20000	営業本部	編集	削除
21000	営業本部/第1営業部	編集	削除
22000	営業本部/第2営業部	編集	削除
23000	営業本部/第3営業部	編集	削除
30000	開発本部	編集	削除
31000	開発本部/技術管理部	編集	削除
32000	開発本部/第1開発部	編集	削除
33000	開発本部/第2開発部	編集	削除
34000	開発本部/第3開発部	編集	削除
40000	購買本部	編集	削除
41000	購買本部/購買部	編集	削除

2. グループ情報を変更し、[保存]ボタンを押下します。

InCircle管理コンソール

ユーザとグループ > グループ

グループ順序

グループ名
(管理本部/総務部)

親グループ

グループを階層で表示する場合は親グループを設定します。階層は最大5階層まで設定できます。

3.9. グループの削除

1. [ユーザとグループ]> [グループ編集]で削除するグループの[削除]を押下します。

※親グループに設定されているグループは削除できません。

InCircle管理コンソール

ユーザとグループ > グループ編集

グループの編集・削除を行います。グループ間アクセス設定を使用する場合はグループ間アクセス設定を有効にしてください。

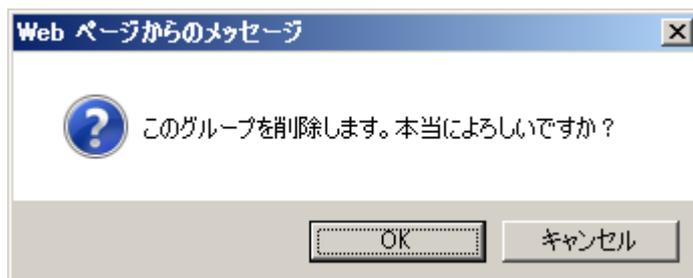
グループ間アクセス設定 有効にする 無効にする

グループ名を入力してください

1-14 / 全14件

グループ順序	グループ名 (親グループがある場合はすべての親グループが表示されます)	編集	削除
10000	管理本部	編集	削除
11000	管理本部/経理部	編集	削除
12000	管理本部/総務部	編集	削除
20000	営業本部	編集	削除
21000	営業本部/第1営業部	編集	削除
22000	営業本部/第2営業部	編集	削除
23000	営業本部/第3営業部	編集	削除
30000	開発本部	編集	削除
31000	開発本部/技術管理部	編集	削除
32000	開発本部/第1開発部	編集	削除
33000	開発本部/第2開発部	編集	削除
34000	開発本部/第3開発部	編集	削除
40000	購買本部	編集	削除
41000	購買本部/購買部	編集	削除

2. 確認画面で[OK]を押下します。



3.10. グループ間アクセス設定を有効にする

本機能はオプションです。ご利用の際は別途お申込みが必要です。

1. メニュー [ユーザとグループ]> [グループ編集] を選択します。グループ間アクセス設定[有効にする]を選択します。

InCircle管理コンソール

システム 個人設定 ヘルプ ログアウト

ダッシュボード ユーザとグループ > グループ編集

グループ間アクセス設定 有効にする 無効にする

グループ名を入力してください [検索]

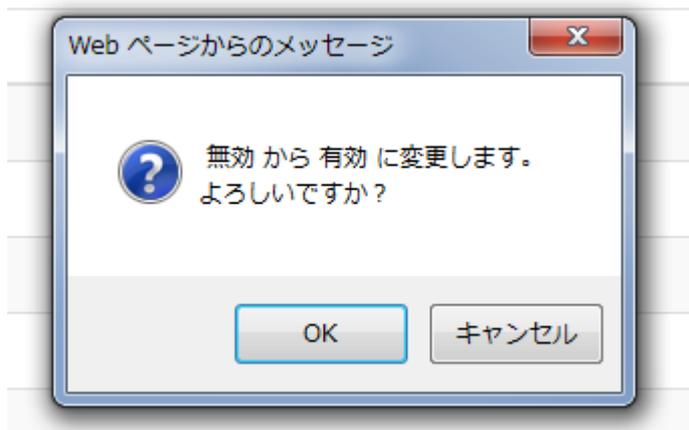
1-14 / 全14件

グループ一覧

グループ順序	グループ名 (親グループがある場合はすべての親グループが表示されます)	編集	削除
10000	管理本部	編集	削除
11000	管理本部/経理部	編集	削除
12000	管理本部/総務部	編集	削除
20000	営業本部	編集	削除
21000	営業本部/第1営業部	編集	削除
22000	営業本部/第2営業部	編集	削除
23000	営業本部/第3営業部	編集	削除
30000	開発本部	編集	削除
31000	開発本部/技術管理部	編集	削除
32000	開発本部/第1開発部	編集	削除
33000	開発本部/第2開発部	編集	削除
34000	開発本部/第3開発部	編集	削除
40000	購買本部	編集	削除
41000	購買本部/購買部	編集	削除

version: 14.0.82.0
© AOS Technologies, Inc.

2. 確認画面で[OK]を押下します。



3. 設定が有効となり、一覧にグループ間アクセス設定に関する項目が表示されます。

The screenshot shows the 'InCircle管理コンソール' (InCircle Management Console) interface. The main content area is titled 'ユーザとグループ > グループ編集' (Users and Groups > Group Edit). Below the title, there is a section for 'グループ間アクセス設定' (Group Access Settings) with radio buttons for '有効にする' (Enable) and '無効にする' (Disable). A search box for group names is also present.

The 'グループ一覧' (Group List) table is shown below, with a sub-table for 'グループ間アクセス設定' (Group Access Settings) highlighted in red. The sub-table has three columns: 'アクセス許可元' (Access Permission Source), 'アクセス許可先' (Access Permission Priority), and 'アクセス設定' (Access Setting).

グループ一覧				グループ間アクセス設定		
グループ名 (親グループがある場合はすべての親グループが表示されます)	グループ順序	編集	削除	アクセス許可元	アクセス許可先	アクセス設定
10000 管理本部		編集	削除	すべて (13) のグループ	すべて (13) のグループ	変更 一覧
11000 管理本部/経理部		編集	削除	すべて (13) のグループ	すべて (13) のグループ	変更 一覧
12000 管理本部/総務部		編集	削除	すべて (13) のグループ	すべて (13) のグループ	変更 一覧
20000 営業本部		編集	削除	すべて (13) のグループ	すべて (13) のグループ	変更 一覧
21000 営業本部/第1営業部		編集	削除	すべて (13) のグループ	すべて (13) のグループ	変更 一覧
22000 営業本部/第2営業部		編集	削除	すべて (13) のグループ	すべて (13) のグループ	変更 一覧
23000 営業本部/第3営業部		編集	削除	すべて (13) のグループ	すべて (13) のグループ	変更 一覧
30000 開発本部		編集	削除	すべて (13) のグループ	すべて (13) のグループ	変更 一覧
31000 開発本部/技術管理部		編集	削除	すべて (13) のグループ	すべて (13) のグループ	変更 一覧

3.11. グループ間アクセス設定を無効にする

本機能はオプションです。ご利用の際は別途お申込みが必要です。

1. メニュー [ユーザとグループ]> [グループ編集] を選択します。グループ間アクセス設定[無効にする]を選択します。

InCircle管理コンソール

ユーザとグループ > グループ編集

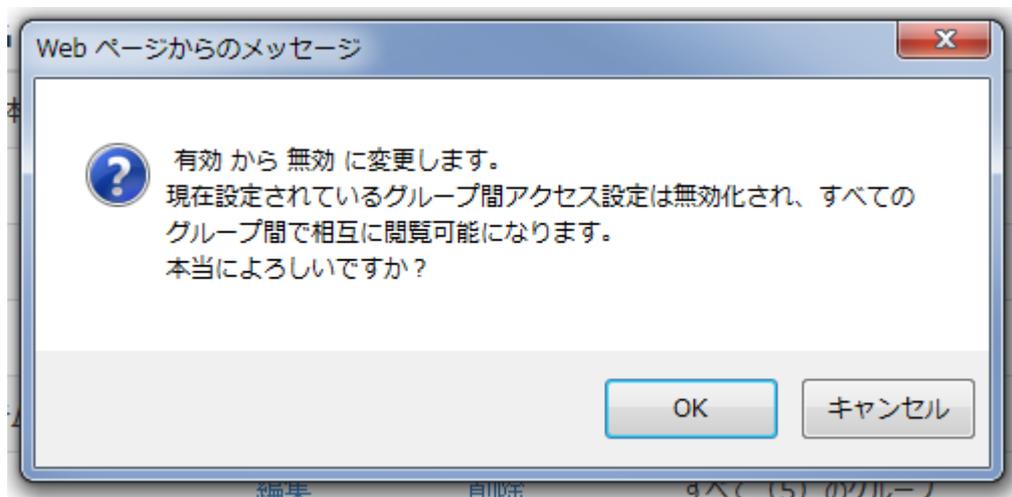
グループ間アクセス設定 有効にする 無効にする

グループ名を入力してください

1-14 / 全14件

グループ名	グループ順序	グループ間アクセス設定	アクセス許可元	アクセス許可先	アクセス設定
10000 管理本部		編集 削除	すべて (13) のグループ	すべて (13) のグループ	変更 一覧
11000 管理本部/経理部		編集 削除	すべて (13) のグループ	すべて (13) のグループ	変更 一覧
12000 管理本部/総務部		編集 削除	すべて (13) のグループ	すべて (13) のグループ	変更 一覧
20000 営業本部		編集 削除	すべて (13) のグループ	すべて (13) のグループ	変更 一覧
21000 営業本部/第1営業部		編集 削除	すべて (13) のグループ	すべて (13) のグループ	変更 一覧
22000 営業本部/第2営業部		編集 削除	すべて (13) のグループ	すべて (13) のグループ	変更 一覧
23000 営業本部/第3営業部		編集 削除	すべて (13) のグループ	すべて (13) のグループ	変更 一覧
30000 開発本部		編集 削除	すべて (13) のグループ	すべて (13) のグループ	変更 一覧
31000 開発本部/技術管理部		編集 削除	すべて (13) のグループ	すべて (13) のグループ	変更 一覧

2. 確認画面で[OK]を押下します。



3. 設定が無効となり、一覧にはグループ間アクセス設定に関する項目が表示されません。

The screenshot shows the 'InCircle管理コンソール' (InCircle Management Console) interface. The main content area is titled 'ユーザーとグループ > グループ編集' (Users and Groups > Group Edit). Below the title, there is a message: 'グループの編集・削除を行います。グループ間アクセス設定を使用する場合は(グループ間アクセス設定)を有効にしてください。' (You can edit or delete groups. If you use group inter-access settings, please enable (group inter-access settings)). Below this message, the 'グループ間アクセス設定' (Group Inter-Access Settings) section is shown with radio buttons for '有効にする' (Enable) and '無効にする' (Disable), with '無効にする' selected. A search box for 'グループ名を入力してください' (Enter group name) and a '検索' (Search) button are also present. Below the search box, it says '1-14 / 全14件' (1-14 / All 14 items). The 'グループ一覧' (Group List) section is highlighted with a red box and contains a table with columns for 'グループ順序' (Group Order), 'グループ名 (親グループがある場合はすべての親グループが表示されます)' (Group Name (All parent groups are displayed if there are parent groups)), '編集' (Edit), and '削除' (Delete). The table lists 14 groups, including '10000 管理本部', '20000 営業本部', '30000 開発本部', and '40000 購買本部'. The 'グループ間アクセス設定' section is also highlighted with a red box, indicating it is disabled.

グループ順序	グループ名 (親グループがある場合はすべての親グループが表示されます)	編集	削除
10000	管理本部	編集	削除
11000	管理本部/経理部	編集	削除
12000	管理本部/総務部	編集	削除
20000	営業本部	編集	削除
21000	営業本部/第1営業部	編集	削除
22000	営業本部/第2営業部	編集	削除
23000	営業本部/第3営業部	編集	削除
30000	開発本部	編集	削除
31000	開発本部/技術管理部	編集	削除
32000	開発本部/第1開発部	編集	削除
33000	開発本部/第2開発部	編集	削除
34000	開発本部/第3開発部	編集	削除
40000	購買本部	編集	削除
41000	購買本部/購買部	編集	削除

3.12. グループ間アクセス設定 グループ毎のアクセス設定 その1(変更画面)

本機能はオプションです。ご利用の際は別途お申込みが必要です。

グループ間アクセス設定機能で、グループ毎のアクセス設定を行います。[一覧]画面でもアクセス設定が可能です。用途にあわせてご利用ください。

1. メニュー [ユーザとグループ]> [グループ編集] を選択します。グループ間アクセス設定[有効]状態で、アクセス設定を行うグループの[変更]を押下します。

InCircle管理コンソール

ユーザとグループ > グループ編集

グループの編集・削除を行います。グループ間アクセス設定を使用する場合はグループ間アクセス設定を有効にしてください。

グループ間アクセス設定 有効にする 無効にする

グループ名を入力してください

15/14 / 全14件

グループ名	グループ順	グループ名 (親グループがある場合はすべての親グループが表示されます)	編集	削除	アクセス許可元	アクセス許可先	アクセス設定
10000	管理本部		編集	削除	すべて (13) のグループ	すべて (13) のグループ	変更 一覧
11000	管理本部/経理部		編集	削除	すべて (13) のグループ	すべて (13) のグループ	変更 一覧
12000	管理本部/総務部		編集	削除	すべて (13) のグループ	すべて (13) のグループ	変更 一覧
20000	営業本部		編集	削除	すべて (13) のグループ	すべて (13) のグループ	変更 一覧
21000	営業本部/第1営業部		編集	削除	すべて (13) のグループ	すべて (13) のグループ	変更 一覧
22000	営業本部/第2営業部		編集	削除	すべて (13) のグループ	すべて (13) のグループ	変更 一覧
23000	営業本部/第3営業部		編集	削除	すべて (13) のグループ	すべて (13) のグループ	変更 一覧
30000	開発本部		編集	削除	すべて (13) のグループ	すべて (13) のグループ	変更 一覧
31000	開発本部/技術管理部		編集	削除	すべて (13) のグループ	すべて (13) のグループ	変更 一覧

2. 設定画面が表示されます。

管理本部のアクセス設定

グループ間の閲覧可、閲覧不可の設定をします。設定を変更するグループをドラッグ&ドロップしてください (Ctrl + クリックで複数グループを選択可能)。設定情報はドラッグ&ドロップした時点で自動的に更新されます。

管理本部と相互に閲覧可能	管理本部からのみ閲覧可能	これらのグループからのみ閲覧可能	管理本部と相互に閲覧不可
<ul style="list-style-type: none"> 経理部 総務部 	<ul style="list-style-type: none"> 購買本部 購買部 	<ul style="list-style-type: none"> 役員 	<ul style="list-style-type: none"> 営業本部 第1営業部 第2営業部 第3営業部 開発本部 技術管理部 第1開発部 第2開発部 第3開発部

すべてのグループをここに移動する

すべてのグループをここに移動する

すべてのグループをここに移動する

すべてのグループをここに移動する

3. 画面にあるグループをドラッグ&ドロップし、設定を変更します。
 複数グループを同時に移動する場合は、「Ctl + クリック」で複数選択後、移動します。
 親グループを確認する場合はマウスオーバーすると表示されます。

管理本部のアクセス設定
 グループ間の閲覧可、閲覧不可の設定をします。設定を変更するグループをドラッグ&ドロップしてください（Ctrl + クリックで複数グループを選択可能）。
 設定情報はドラッグ&ドロップした時点で自動的に更新されます。

管理本部 と相互に閲覧可能	管理本部 からのみ閲覧可能	これらのグループからのみ閲覧可能	管理本部 と相互に閲覧不可
経理部 総務部	購買本部 購買部	役員	営業本部 第1営業部 第2営業部 第3営業部 開発本部 技術管理部 第1開発部 第2開発部 第3開発部
すべてのグループをここに移動する	すべてのグループをここに移動する	すべてのグループをここに移動する	すべてのグループをここに移動する

閉じる

※ドラッグ&ドロップした時点で、自動的に更新されます。

4つの領域は以下の設定となります。

(1) XXXXXX と相互に閲覧可能

画面を開いているグループ（ここでは管理本部）と、ここに設定したグループについて、お互いに閲覧が可能となります。

(2) XXXXXX からのみ閲覧可能

画面を開いているグループ（ここでは管理本部）と、ここに設定したグループについて、画面を開いているグループからのみ閲覧が可能となります。

画像の場合、「管理本部」にいるユーザは「購買本部」「購買部」が閲覧可能となり、「購買本部」「購買部」から「管理本部」は閲覧不可となります。

(3) これらのグループからのみ閲覧可能

画面を開いているグループ(ここでは管理本部)と、ここに設定したグループについて、ここに設定したグループからのみ閲覧が可能となります。

画像の場合、「役員」にいるユーザは「管理本部」が閲覧可能となり、「管理本部」から「役員」は閲覧不可となります。

(4) XXXXXX と相互に閲覧不可

画面を開いているグループ(ここでは管理本部)と、ここに設定したグループについて、お互いに閲覧が不可となります。

【注意】

複数のグループに属しているユーザは「閲覧可能」が優先されます。

画像の場合、「購買本部」と「役員」に属しているグループは、

「(3) これらのグループからのみ閲覧可能」が優先され、「管理本部」の閲覧が可能となります。

3.13. グループ間アクセス設定 グループ毎のアクセス設定 その2(一覧画面)

本機能はオプションです。ご利用の際は別途お申込みが必要です。

グループ間アクセス設定機能で、グループ毎のアクセス設定を行います。[変更]画面でもアクセス設定が可能です。用途にあわせてご利用ください。

1. メニュー [ユーザとグループ]> [グループ編集] を選択します。グループ間アクセス設定[有効]状態で、アクセス設定を行うグループの[一覧]を押下します。

The screenshot shows the 'InCircle管理コンソール' interface. The left sidebar has 'グループ編集' highlighted. The main content area is titled 'ユーザとグループ > グループ編集'. Below the title, there are radio buttons for '有効にする' (selected) and '無効にする'. A search box is present. The 'グループ一覧' table lists various departments with columns for 'グループ名', '編集', '削除', 'アクセス許可元', 'アクセス許可先', and 'アクセス設定'. The 'アクセス設定' column for the '10000 管理本部' row has a red box around the '一覧' link.

グループ名	編集	削除	アクセス許可元	アクセス許可先	アクセス設定
10000 管理本部	編集	削除	すべて (13) のグループ	すべて (13) のグループ	一覧
11000 管理本部/経理部	編集	削除	すべて (13) のグループ	すべて (13) のグループ	変更 一覧
12000 管理本部/総務部	編集	削除	すべて (13) のグループ	すべて (13) のグループ	変更 一覧
20000 営業本部	編集	削除	すべて (13) のグループ	すべて (13) のグループ	変更 一覧
21000 営業本部/第1営業部	編集	削除	すべて (13) のグループ	すべて (13) のグループ	変更 一覧
22000 営業本部/第2営業部	編集	削除	すべて (13) のグループ	すべて (13) のグループ	変更 一覧
23000 営業本部/第3営業部	編集	削除	すべて (13) のグループ	すべて (13) のグループ	変更 一覧
30000 開発本部	編集	削除	すべて (13) のグループ	すべて (13) のグループ	変更 一覧
31000 開発本部/技術管理部	編集	削除	すべて (13) のグループ	すべて (13) のグループ	変更 一覧

2. 一覧・設定画面が表示されます。

The screenshot shows the 'ユーザとグループ > 管理本部のアクセス設定一覧' page. It includes a '戻る' (Back) button and a '変更を保存' (Save Changes) button. There are two main sections: 'アクセス設定の一括処理' (Batch Access Settings) and 'グループ一覧' (Group List). The 'グループ一覧' section has a table with 'アクセス設定' and 'グループ名' columns. The 'アクセス設定' column has radio buttons for '相互に閲覧可能' and '相互に閲覧不可'. The 'グループ名' column lists various departments.

アクセス設定	グループ名 (親グループがある場合はすべての親グループが表示されます)
選択中のグループ	管理本部
相互に閲覧可能	管理本部/経理部
相互に閲覧可能	管理本部/総務部
相互に閲覧可能	営業本部
相互に閲覧可能	営業本部/第1営業部
相互に閲覧可能	営業本部/第2営業部
相互に閲覧可能	営業本部/第3営業部
相互に閲覧不可	開発本部

3. アクセス設定ボタンでアクセス設定を変更し、[変更を保存]ボタンを押下します。

※ [変更を保存]ボタンを押下後に変更内容が反映されます。



アクセス設定ボタンは画面を開いているグループ（ここでは管理本部）、とボタンの右に表示されているグループとの設定を示します。4つのボタンは以下の設定となります。一括処理については、次ページを参照してください。

(1) 相互に閲覧可能

画面を開いているグループ（ここでは管理本部）と、お互いに閲覧が可能となります。

(2) 選択中のグループからのみ閲覧可能

画面を開いているグループ（ここでは管理本部）からのみ閲覧が可能となります。

(3) 相手のグループからのみ閲覧可能

右に表示されているグループからのみ閲覧が可能となります。画面を開いているグループ（ここでは管理本部）からは閲覧不可となります。

(4) 相互に閲覧不可

画面を開いているグループ（ここでは管理本部）と、お互いに閲覧不可となります。

【アクセス設定の一括処理について】



グループの階層設定をしている場合[アクセス設定の一括処理]でよくある設定を簡単に設定できます。

※ [変更を保存]ボタンを押下後に変更内容が反映されます。

(1) 同階層のグループと相互に閲覧可能

選択したグループと同じ階層にある すべてのグループを[相互に閲覧可能]にします。

(2) 別階層のグループと相互に閲覧不可

選択したグループと別の階層にある すべてのグループを[相互に閲覧不可]にします。

すべてのグループに対して[相互に閲覧可能]、[相互に閲覧不可]を設定する場合は[変更]画面から設定します。

3.14. ユーザとグループの一括登録 CSV ファイル手動登録

メニュー [ユーザとグループ]> [CSV 一括登録] を選択します。手動にて CSV ファイルをアップロードしてユーザとグループ情報を登録します。

【注意】

CSV ファイルインポート処理では、登録・更新・削除処理完了後、ユーザに登録されていないグループ情報は自動的にデータベースから削除されます。

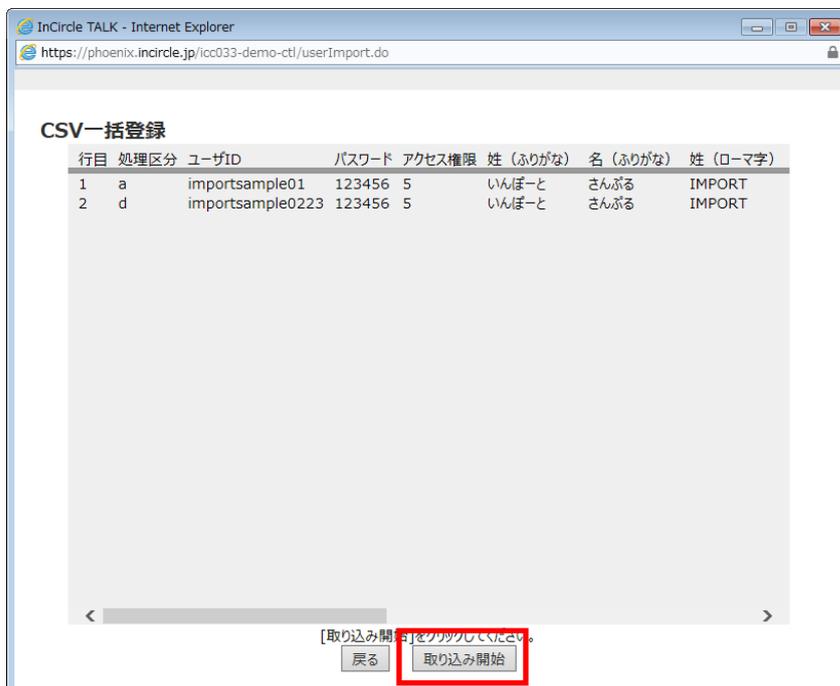
1. メニュー[ユーザとグループ]> [CSV 一括登録]を選択し、[一括登録をはじめる]ボタンを押下します。



2. [参照]を押下し、作成した csv ファイルを指定します。
必要に応じて[先頭行を項目名として無視する]にチェックし、[データ確認へすすむ]を押下します。

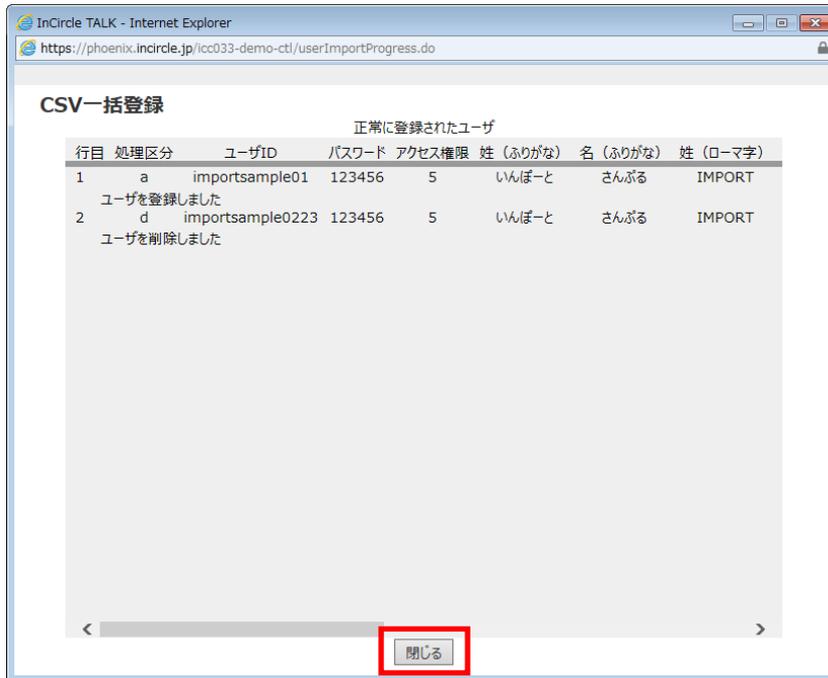


3. [取り込み開始]をクリックします。



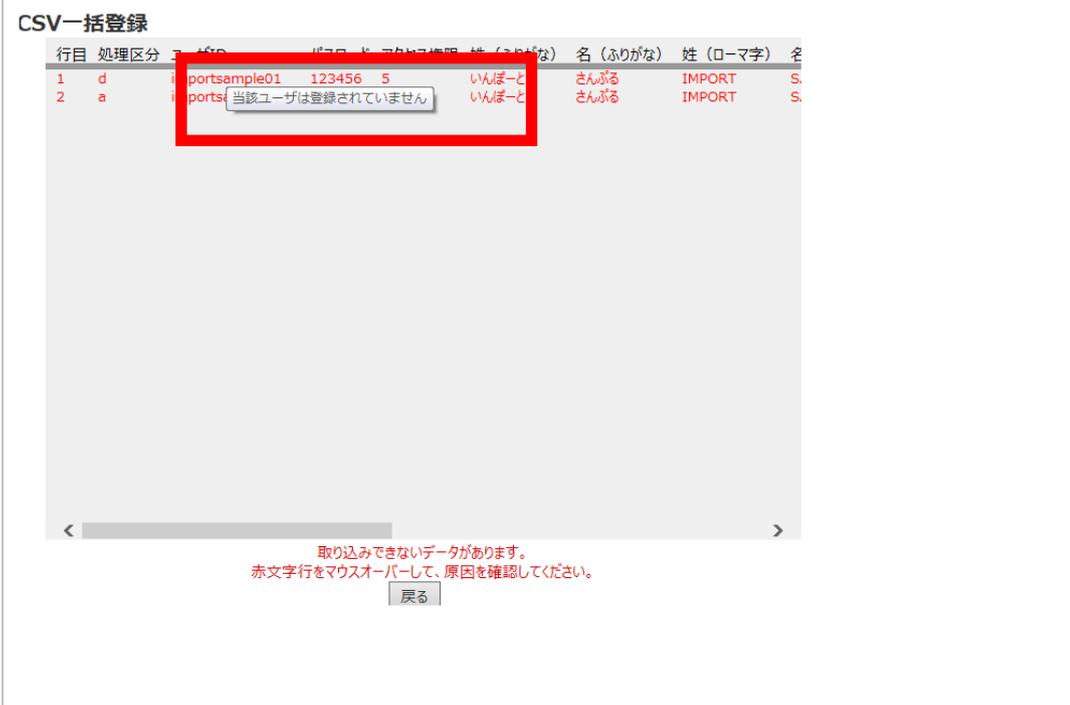
※文字化けが発生する場合は、CSV ファイルの文字コードを「UTF-8」に変更し再度、手順 1 からやり直してください。
(環境依存文字が含まれていると文字化けが発生する可能性があります)

4. 処理結果を確認し、[閉じる]ボタンを押下します。



メモ

取り込みができずエラーが発生するときは赤字行にカーソルを重ねるとエラーの原因が表示されます。csv ファイルの原因箇所を変更し、再度、1 から操作をやり直してください。



3.15. ユーザとグループの一括登録 CSV ファイル自動登録

本機能はオプションです。ご利用の際は別途お申込みが必要です。

メニュー [ユーザとグループ]> [CSV 一括登録] を選択します。自動的に CSV ファイル登録を行う設定を登録します。

1. メニュー[ユーザとグループ]> [CSV 一括登録]を選択し、[CSV 一括登録の設定]ボタンを押下します。



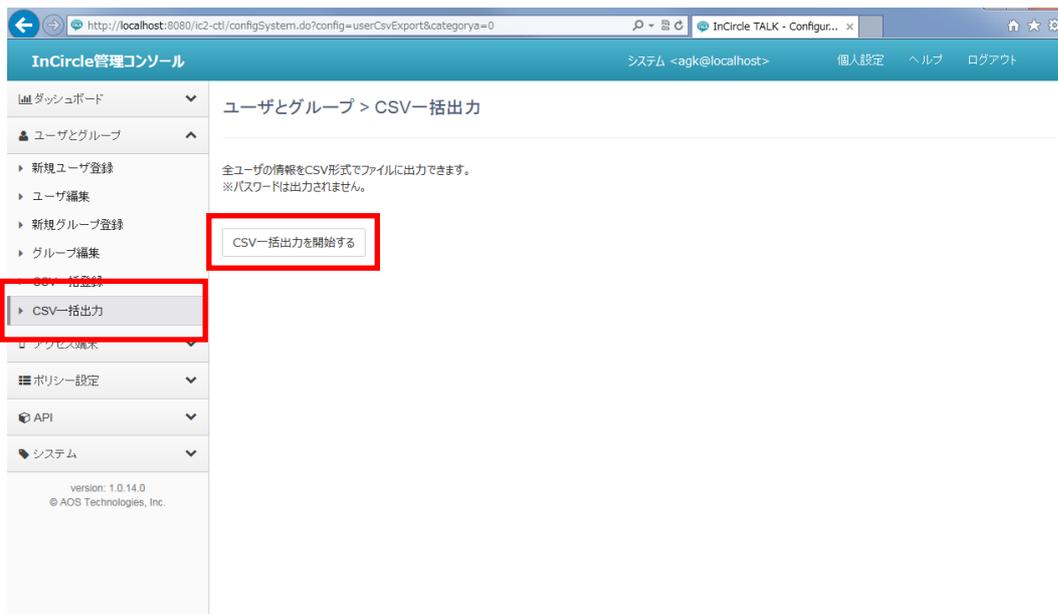
2. 項目を設定し、[保存]ボタンを押下します。



3.16. ユーザの一括出力

メニュー [ユーザとグループ]> [CSV 一括出力] を選択します。InCircle に登録されているユーザ情報を CSV ファイルに出力しダウンロードします。

1. メニュー[ユーザとグループ]> [CSV 一括出力]を選択し、[CSV 一括出力を開始する]ボタンを押下します。



2. [CSV ファイルダウンロード]を押下します。
3. [保存]ボタンを押下します。



第4章. アクセス端末

4.1. アクセス端末の制限設定

本機能はオプションです。ご利用の際は別途お申し込みが必要です。

メニュー [アクセス端末]> [制限設定] を選択します。端末認証設定を行い、[保存]ボタンを押下します。



制限設定

[無効][有効(IP アドレス制限 AND 端末認証)][有効(IP アドレス制限 OR 端末認証)]を設定します。

IP アドレス制限

・IP アドレス制限

[制限する][制限しない]を設定します。

・許可する IP アドレス

許可する IP アドレスを設定します。

※グローバルアドレスを設定します。

端末認証

・共有端末認証

[認証する][認証しない]を設定します。

共有端末認証は、端末個体を利用ユーザと紐づけずに、どの利用ユーザでも利用可能にさせたい場合に設定します。共有端末認証の端末コードは、メニューの[アクセス端末]> [一括登録(共有端末)]から登録します。

・個人端末認証

[認証する][認証しない]を設定します。

個人端末認証は、端末個体を特定の利用ユーザと紐づけて、他のユーザは当該端末を利用させたくない場合に設定します。個人端末認証の端末コードはユーザ初回ログイン時、自動的に登録されます。

※ユーザに登録された端末コードを削除する場合、[システム管理者][ユーザ管理者]のみが実行できます。詳細は「個人端末認証情報の削除」を参照してください。

・PC・WEB 端末数

個人端末認証で 1 ユーザが登録できる PC・WEB 端末 (Windows アプリ、またはブラウザ) 数を設定します。

・スマートデバイス端末数

個人端末認証で 1 ユーザが登録できるスマートデバイス端末 (Android、iPhone、iPad など) 数を設定します。

・高度な検証

[有効][無効]を設定します。

高度な検証を有効にすると、端末コードを複製された可能性を検知した場合、当該端末コードからのアクセスをブロックします。

4.2. 新規端末コードの登録(共有端末)

本機能はオプションです。ご利用の際は別途お申込みが必要です。

メニュー [アクセス端末]>[新規端末コード登録(共有端末)] を選択します。新規端末コードと備考を入力し、[保存]ボタンを押下します。

The screenshot shows the InCircle management console interface. The browser address bar indicates the URL: `http://localhost:8080/ic2-ct/configSystem.do?config=terminalAdd&categorya=0`. The page title is "InCircle TALK - Configur...". The main navigation menu on the left includes "ダッシュボード", "ユーザとグループ", "アクセス端末", "制限設定", "新規端末コード登録(共有端末)", "端末コード編集(共有端末)", "CSV一括登録(共有端末)", "CSV一括出力(共有端末)", "アプリ認証", "ポリシー設定", "スタンプ", "API", and "システム". The "新規端末コード登録(共有端末)" option is highlighted with a red box. The main content area is titled "アクセス端末 > 新規端末コード登録(共有端末)". It contains a form with two input fields: "端末コード" (Terminal Code) and "備考" (Remarks). The "端末コード" field is marked as required with a red asterisk. Below the "備考" field, there is a note: "備考は管理情報です。登録した情報は[端末コード編集(共有端末)]の検索で利用できます。". A "保存" (Save) button is located at the bottom of the form, also highlighted with a red box. The footer of the page shows "version: 12.0.13.0" and "© AOS Technologies, Inc."

端末コード (必須)

端末コードを入力します。

備考

備考を入力します。

4.3. 端末コードの検索 (共有端末)

本機能はオプションです。ご利用の際は別途お申込みが必要です。

メニュー [アクセス端末]>[端末コード編集 (共有端末)] を選択します。検索ボックスに端末コード、または備考を入力し、[検索]ボタンを押下します。



The screenshot displays the InCircle management console interface. The left sidebar contains a navigation menu with 'アクセス端末' expanded, and '端末コード編集 (共有端末)' selected. The main content area is titled 'アクセス端末 > 端末コード編集 (共有端末)'. A search box and a '検索' button are highlighted with a red box. Below the search area, a table lists terminal codes and their remarks. The table has two columns: '端末コード' and '備考'. The first column contains terminal codes, and the second column contains remarks. Each row has '編集' and '削除' links. The table shows 4 items out of 4 total items.

端末コード	備考		
355577778889998	備考	編集	削除
355677778889999	備考	編集	削除
35708E95-2A01-4AC4-8246-67D27D4C4FAF	備考	編集	削除
58AFD337-16AF-4001-923F-E8CD9CAA0222	備考	編集	削除

4.4. 端末コードの編集(共有端末)

本機能はオプションです。ご利用の際は別途お申込みが必要です。

1. メニュー [アクセス端末]>[端末コード編集(共有端末)] で編集する端末コードの[編集]を押下します。



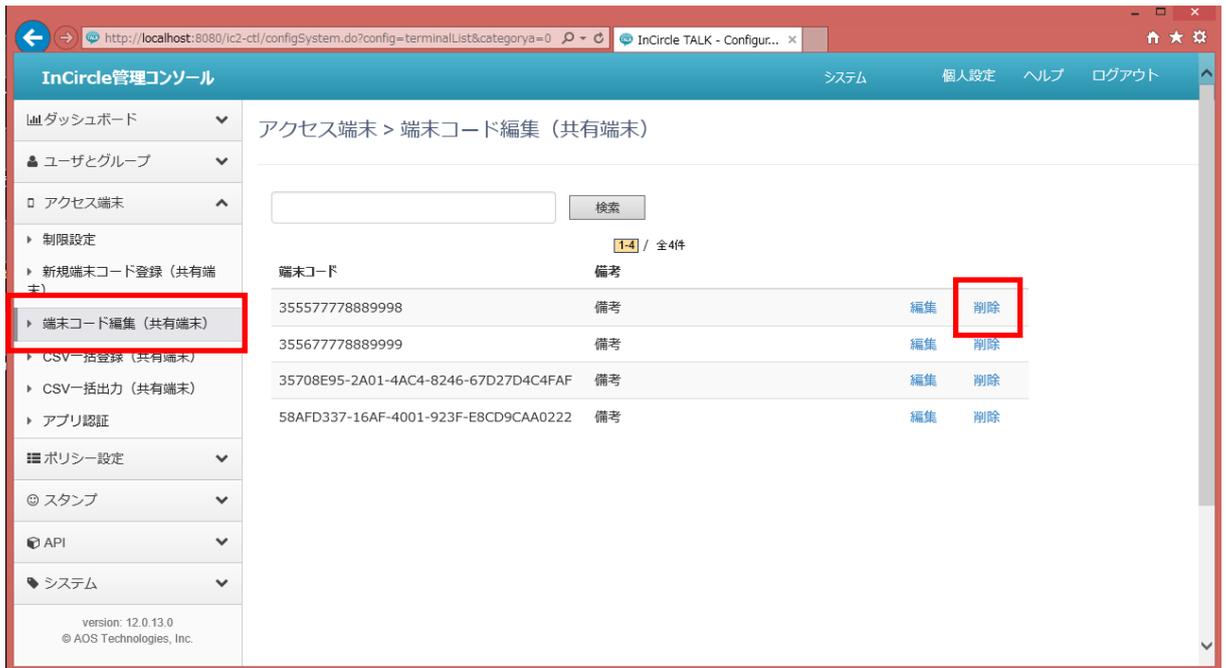
2. 端末コード、または備考を変更し、[保存]ボタンを押下します。



4.5. 端末コードの削除(共有端末)

本機能はオプションです。ご利用の際は別途お申込みが必要です。

1. メニュー [アクセス端末]>[端末コード編集(共有端末)] で削除する端末コードの[削除]を押下します。



2. 確認画面で[OK]を押下します。



4.6. 共有端末の一括登録

本機能はオプションです。ご利用の際は別途お申込みが必要です。

メニュー [アクセス端末]> [CSV 一括登録(共有端末)] を選択します。CSV ファイルをアップロードして共有端末コードを登録します。

1. [アクセス端末]>[CSV 一括登録(共有端末)] を押下します。
2. [端末コードの一括登録を開始する] ボタンを押下します。



3. [参照]ボタンを押下し、作成した csv ファイルを指定します。[データ確認へすすむ]ボタンを押下します。



4. [取り込み開始]ボタン を押下します。



5. 処理結果を確認し、[閉じる]ボタンを押下します。



※過去のデータはすべて削除され、アップロードしたデータのみが反映されます。データを追加する場合は過去のデータもあわせて登録してください。

端末コードについては、以下を参照してください。

•Android 端末

端末の IMEI が端末コードになります。

Wi-Fi 専用端末の場合、InCircle アプリが発行しているコードになります。

•iOS 端末

InCircle アプリが発行しているコードになります。

ログイン画面の右下にある歯車アイコンをタップし、メニュー[端末コード]から確認してください。

•Windows アプリ

InCircle アプリが発行しているコードになります。

ログイン画面の右下にある歯車アイコンを押下し、端末コードを確認してください。

•ブラウザ

InCircle システムが発行しているコードになります。

ログイン画面の右下にあるアイコンを押下し、端末コードを確認してください。

4.7. CSV一括出力(共有端末)

本機能はオプションです。ご利用の際は別途お申込みが必要です。

メニュー[アクセス端末]> [CSV一括出力(共有端末)] を選択します。InCircle に登録されている共有端末コードを CSV ファイルに出力しダウンロードします。

1. メニュー [アクセス端末]>[CSV一括出力(共有端末)]を選択し、[CSV一括出力を開始する] ボタンを押下します。



2. [CSVファイルダウンロード]を押下します。



4.8. 個人端末の一括削除

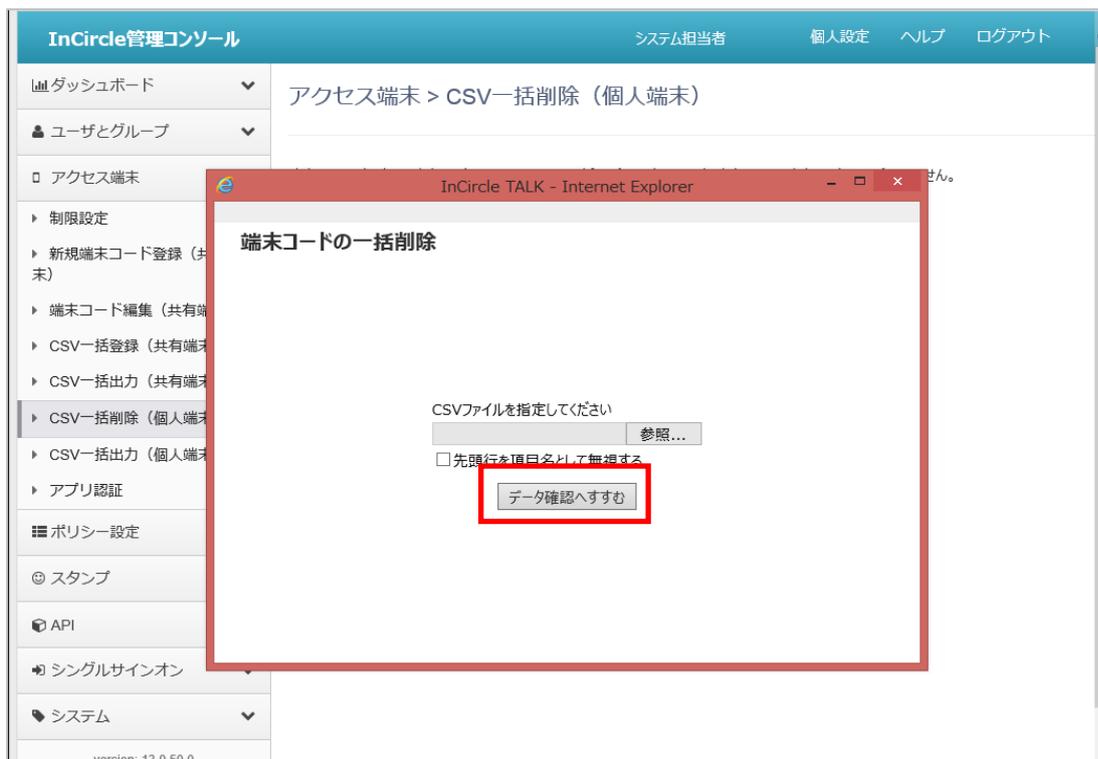
本機能はオプションです。ご利用の際は別途お申込みが必要です。

メニュー [アクセス端末]> [CSV一括削除(個人端末)] を選択します。CSV ファイルをアップロードして個人端末コードの一括削除を行います。

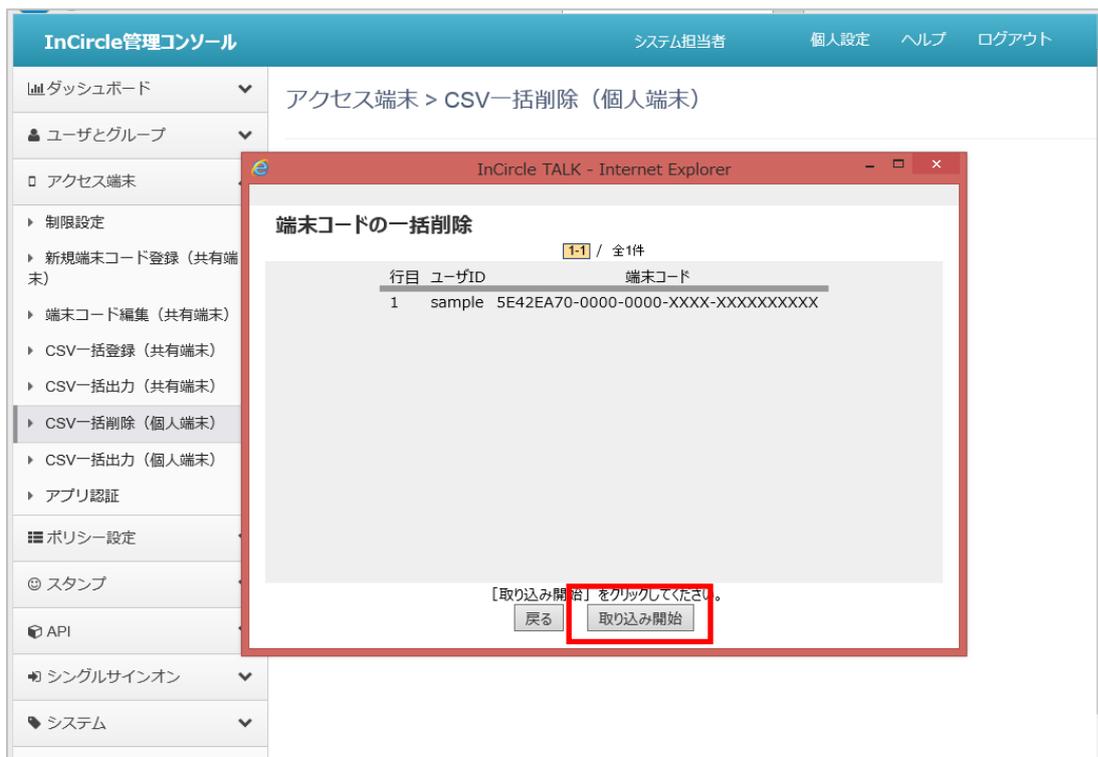
1. [アクセス端末]>[CSV一括削除(個人端末)] を押下します。
2. [端末コードの一括削除を開始する] ボタンを押下します。

The screenshot shows the InCircle management console interface. The top navigation bar includes 'InCircle管理コンソール', 'システム担当者', '個人設定', 'ヘルプ', and 'ログアウト'. The main content area is titled 'アクセス端末 > CSV一括削除 (個人端末)'. Below the title, there is a description: '端末を識別する個人端末コードをCSVファイルで一括削除します。※共有端末認証の端末コードは削除できません。端末コード一括削除ファイルの作成例：端末コードのサンプル'. A red box highlights the '端末コードの一括削除を開始する' button. The left sidebar menu has 'CSV一括削除(個人端末)' highlighted with a red box.

3. [参照]ボタンを押下し、作成した csv ファイルを指定します。[データ確認へすすむ]ボタンを押下します。



4. [取り込み開始]ボタン を押下します。



5. 処理結果を確認し、[閉じる]ボタンを押下します。

InCircle管理コンソール

システム担当者 個人設定 ヘルプ ログアウト

ダッシュボード

アクセス端末 > CSV一括削除 (個人端末)

ユーザーとグループ

アクセス端末

制限設定

新規端末コード登録 (共有端末)

端末コード編集 (共有端末)

CSV一括登録 (共有端末)

CSV一括出力 (共有端末)

CSV一括削除 (個人端末)

CSV一括出力 (個人端末)

アプリ認証

ポリシー設定

スタンプ

API

シングルサインオン

システム

InCircle TALK - Internet Explorer

端末コードの一括削除

処理結果

1-1 / 全1件

行目	ユーザID	端末コード	結果
1	sample	5E42EA70-0000-0000-XXXX-XXXXXXXXXX	端末情報を削除しました

閉じる

4.9. CSV一括出力(個人端末)

本機能はオプションです。ご利用の際は別途お申込みが必要です。

メニュー[アクセス端末]> [CSV一括出力(個人端末)] を選択します。InCircle に登録されている個人端末コードを CSV ファイルに出力しダウンロードします。

1. メニュー [アクセス端末]>[CSV一括出力(個人端末)]を選択し、[CSV一括出力を開始する] ボタンを押下します。



2. [CSVファイルダウンロード]を押下します。



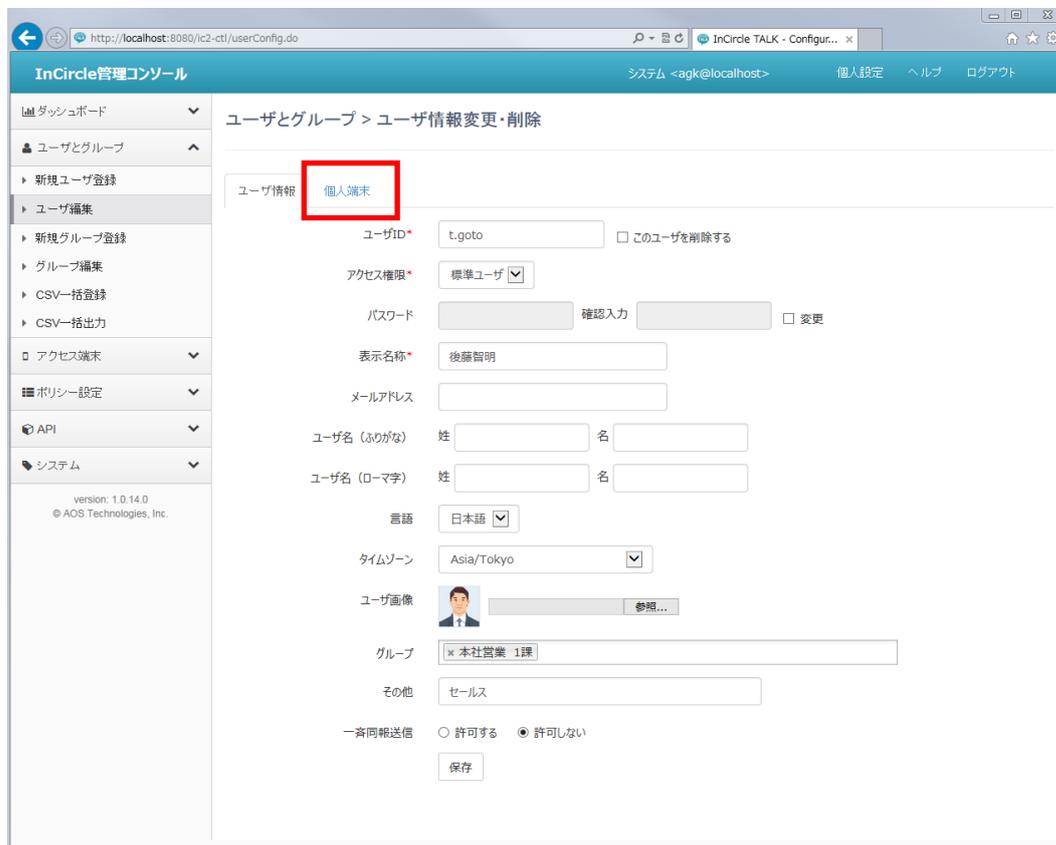
4.10. 個人端末認証情報の確認

個人端末認証 [認証する]設定時、各ユーザに紐づいて登録された端末コードを確認します。
 端末コードの登録は、各ユーザが各端末で初回ログインした際に、自動的に登録されます。

1. [ユーザとグループ]>[ユーザ編集]で確認するユーザの[変更]ボタンを押下します。



2. [個人端末]タブを押下します。



3. データを確認します。



The screenshot shows the InCircle management console interface. The main content area is titled "ユーザとグループ > ユーザ情報変更・削除". There are two tabs: "ユーザ情報" (selected) and "個人端末". The "ユーザ情報" tab contains two tables. The first table, titled "PC-WEB", has columns for "ステータス", "端末コード", "登録日時", "最終ログイン日時", and "端末種別". It contains one row with a green checkmark in the status column, a long alphanumeric terminal code, and login times of 2015/10/26 19:09. The second table, titled "スマートデバイス", has the same columns and contains one row with a green checkmark, a long alphanumeric terminal code, and login times of 2015/10/26 19:09. A red box highlights these two tables. The left sidebar contains a navigation menu with items like "ダッシュボード", "ユーザとグループ", "新規ユーザ登録", "ユーザ編集", "新規グループ登録", "グループ編集", "CSV一括登録", "CSV一括出力", "アクセス端末", "ポリシー設定", "API", and "システム". The bottom left corner of the console shows the version "1.0.14.0" and copyright "© AOS Technologies, Inc."

ステータス	端末コード	登録日時	最終ログイン日時	端末種別
✓	11111111-AAAA-BBBB-CCCC-222222222222	2015/10/26 19:09	2015/10/26 19:09	削除

ステータス	端末コード	登録日時	最終ログイン日時	端末種別
✓	33333333-AAAA-BBBB-CCCC-444444444444	2015/10/26 19:09	2015/10/26 19:09	削除

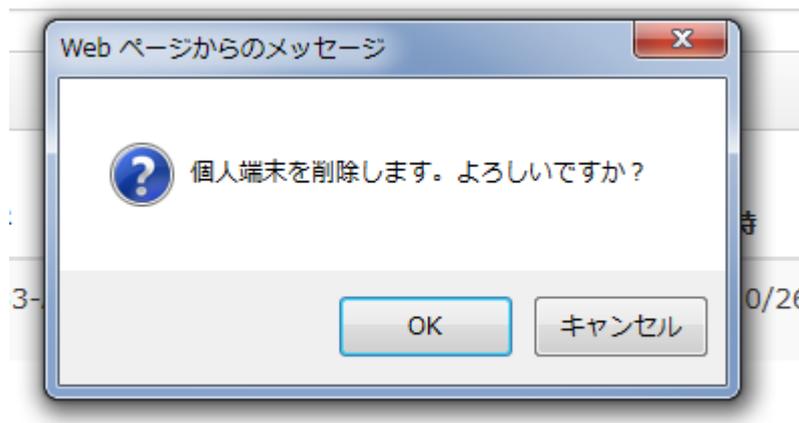
4.11. 個人端末認証情報の削除

個人端末認証 [認証する]設定時、各ユーザに紐づいて登録された端末コードを削除します。

1. 個人端末認証確認画面で[削除]を押下します。



2. 確認画面で[OK]を押下します。



4.12. アプリ認証

本機能はオプションです。ご利用の際は別途お申込みが必要です。

メニュー [アクセス端末]> [アプリ認証] を選択します。アプリ認証の設定内容を確認します。アプリ認証の設定内容は閲覧のみとなります。設定内容を変更する場合は、InCircle サポートまでご連絡ください。



InCircle へのアクセス許可

InCircle にアクセス可能なクライアントを確認します。チェックのないクライアントは InCircle を利用できません。

専用アプリの利用

専用アプリを利用するクライアントを確認します。チェックのあるクライアントは専用アプリからのみ InCircle を利用できます。チェックのないクライアントは標準アプリからのみ利用できます。

※[InCircle へのアクセス許可]にチェックのないクライアントは本設定に関わらず InCircle を利用できません。

第5章. ポリシー設定

5.1. ファイル設定

メニュー [ポリシー設定]> [ファイル]を選択します。ファイルポリシーを設定して、[保存]ボタンを押下します。

The screenshot shows the 'Policy Settings > Files' configuration page in a web browser. The browser address bar shows 'http://localhost:8080/ic2-ctl/configSystem.do?config=systemTempFileSetting&ca'. The page title is 'ポリシー設定 > ファイル'. The left sidebar contains a navigation menu with 'ファイル' highlighted in a red box. The main content area contains several settings, each with radio buttons for '許可しない' (Not Allowed) and '許可する' (Allowed). The '保存' (Save) button at the bottom is also highlighted in a red box.

バージョン: 12.0.13.0
© AOS Technologies, Inc.

画像の送信 許可しない 許可する
画像の送信を許可しない場合、[許可しない]を選択してください。

動画の送信 許可しない 許可する
動画の送信を許可しない場合、[許可しない]を選択してください。

添付ファイルの拡張子制限 制限する 制限しない
添付ファイルの種類を制限する場合、[制限する]を選択してください。

許可する拡張子

許可するファイルの拡張子を半角カンマ [] 反切りで入力してください。
大文字と小文字は区別されません。
例: xls,docx,txt,pdf

画像の保存 許可しない 許可する
端末に画像の保存を許可しない場合、[許可しない]を選択してください。

動画の保存 許可しない 許可する
端末に動画の保存を許可しない場合、[許可しない]を選択してください。

スマートデバイスの添付ファイル閲覧 許可しない 許可する
スマートデバイス(iOS, Androidアプリ)で添付ファイルの閲覧を許可しない場合、[許可しない]を選択してください。
[許可しない]を選択した場合、PCでのみ添付ファイルの閲覧が可能となります。

[iOSアプリ]受信した添付ファイルの転送 許可しない 許可する
InCircle (iOSアプリ) で受信した添付ファイルを別アプリに転送させない場合、[許可しない]を選択してください。

[iOSアプリ]添付ファイル機能 許可しない 許可する
添付ファイル機能を利用しない場合、[許可しない]を選択してください。
[許可しない]を選択した場合、InCircle (iOSアプリ) で添付ファイルメニューが非表示となります。

[iOSアプリ]別アプリのファイルをInCircleに送信 許可しない 許可する
別アプリにあるファイル (PDFやExcelなど) をInCircle (iOSアプリ) に送信する機能を利用しない場合、[許可しない]を選択してください。
[許可しない]を選択した場合、任意のアプリで共有アイコン-InCircleを選択した場合、エラーメッセージが表示されます。

保存

画像の送信

[許可しない][許可する]を設定します。

[許可しない]を設定すると、画像送信機能(トーク画面でサムネイル表示される画像データ)は利用不可となります。

動画の送信

[許可しない][許可する]を設定します。

[許可しない]を設定すると、動画送信機能(トーク画面でサムネイル表示される動画データ)は利用不可となります。

添付ファイルの拡張子制限

[制限する][制限しない]を設定します。

[制限する]を設定すると、添付ファイル送信機能(トーク画面でクリップアイコン表示されるデータ)を制限し、許可する拡張子のみ送信を可能とします。

※拡張子の制限となるため、ユーザが意図的に拡張子を変更した場合は、送信可能となります。

※本機能で仮に「png」を許可していない場合でも、画像送信機能が[許可する]設定の場合、画像送信機能を使って png 画像の送信は可能となります。

画像の保存

[許可しない][許可する]を設定します。

[許可しない]を設定すると、トーク画面でサムネイル表示される画像データの[保存]ボタンが無効となります。

動画の保存

[許可しない]を設定すると、トーク画面でサムネイル表示される動画データの[保存]ボタンが無効となります。

スマートデバイスの添付ファイル閲覧

[許可しない]を設定すると、スマートデバイス(iOS、Android アプリ)では添付ファイルが閲覧できなくなり、PC でのみ閲覧が可能となります。

[iOS アプリ] 受信した添付ファイルの転送

[許可しない]を設定すると、InCircle アプリで添付ファイルを開いた画面に表示される共有アイコン（四角に上の矢印）が表示されなくなります。

そのため、InCircle で受信したファイルを他のアプリに共有することを禁止することができます。

[iOS アプリ] 添付ファイル機能

[許可しない]を選択した場合、InCircle で[添付ファイル]メニューが非表示となります。

[iOS アプリ] 別アプリのファイルを InCircle に送信

[許可しない]を選択した場合、別アプリ（例えばカメラロール）を開き、共有アイコンから InCircle を選択した場合、エラーメッセージが表示され共有を禁止することができます。

5.2. トーク削除の設定

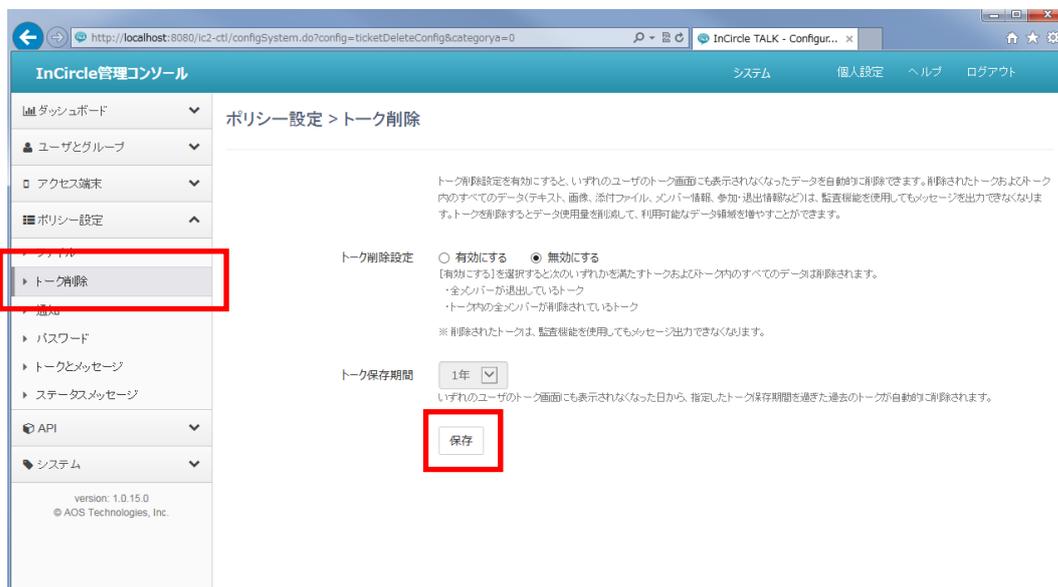
メニュー [ポリシー設定]> [トーク削除]を選択します。トーク削除ポリシーを設定して、[保存]ボタンを押下します。

トーク削除設定を有効にすると、いずれのユーザのトーク画面にも表示されなくなったデータを自動的に削除します。

※本メニューはデータ使用量を削減して、利用可能なデータ領域を増やすためのメニューです。特定のトークのみを削除することはできません。

トーク削除を有効にするには以下の設定を行ってください。

1. メニュー[ポリシー設定]>[トーク削除] を押下します。
2. [トーク削除設定]の [有効にする]をチェックオンにすると、以下のいずれかの条件を満たし、別項目で設定する[トーク保存期間]を超過したトークが自動的に削除されます。
 - ① 全メンバーが退出しているトーク
 - ② トーク内の全メンバーが削除されているトーク
3. [トーク保存期間]は、1日～10年の選択肢からいずれかを設定してください。



【トーク保存期間】がいつから始まるかは、以下を参照してください。

■トーク削除と【トーク保存期間】の具体的なケース

実際にどのような条件でいつトークが削除されるか、具体的なケースで説明します。

【設定値】

[トーク削除設定] : [有効にする] をチェックオン

[トーク保存期間] : 1年

▽ケース 1

ユーザ A、B、C が参加している「トーク 1」について、ユーザ A、B、C 全員が 2015 年 1 月 1 日に退出した場合、1 年後の 2016 年 1 月 1 日（※1）に当該トークは削除されます。

▽ケース 2

ユーザ A、B、C が参加している「トーク 1」について、ユーザ A、B が 2015 年 1 月 1 日に退出し、ユーザ C だけが残っており、ユーザ C は 2015 年 12 月 1 日に管理コンソールにて削除された場合（トーク 1 からは明示的に退出していない）、ユーザ A、B が退出した 2015 年 1 月 1 日から 1 年後の 2016 年 1 月 1 日（※1）に削除されます。

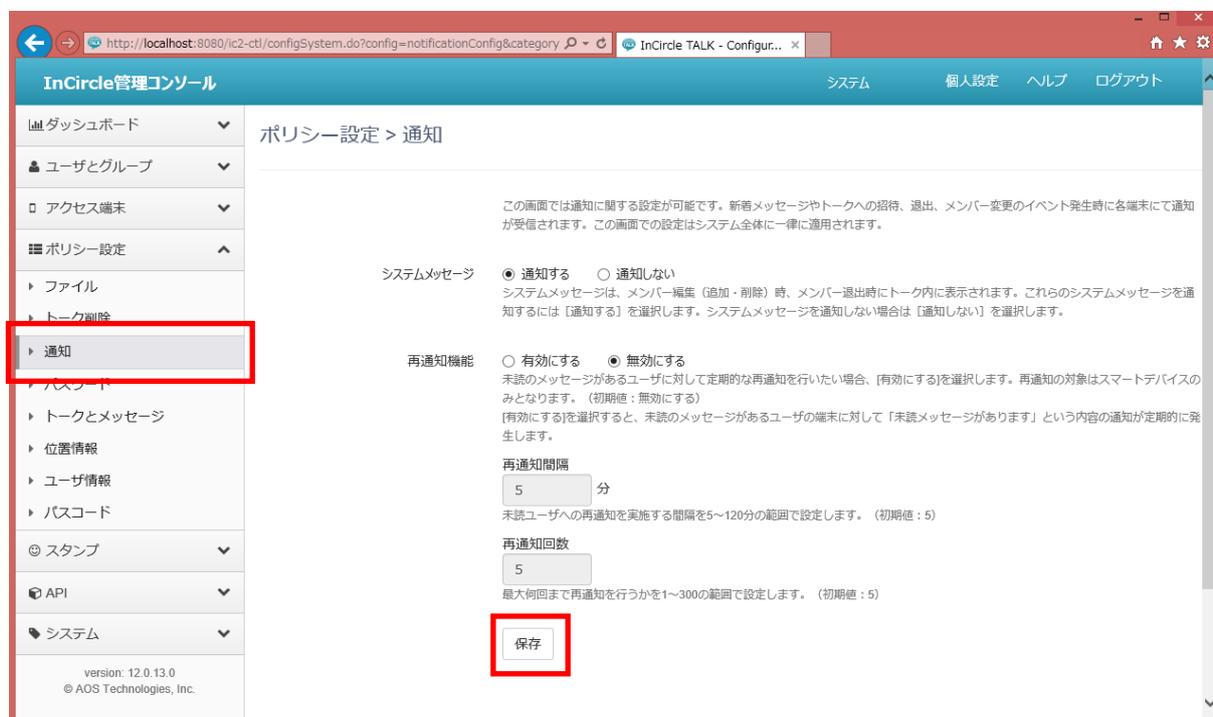
▽ケース 3

ユーザ A、B、C が参加している「トーク 1」について、トーク内の最終メッセージが 2015 年 1 月 1 日に送信されたものであるとき、ユーザ A、B、C 全員が 2015 年 12 月 1 日に管理コンソールにて削除された場合（トーク 1 からは明示的に退出していない）、最終メッセージが送信された 2015 年 1 月 1 日から 1 年後の 2016 年 1 月 1 日（※1）に削除されます。

（※1）弊社のシステム処理タイミングによっては 2016 年 1 月 2 日になる場合があります。

5.3. システムメッセージ通知の設定

メニュー [ポリシー設定]> [通知]を選択します。通知ポリシーを設定して、[保存]ボタンを押下します。



システムメッセージ

以下の操作時、システムから送信されるメッセージの通知について(iOS, Android への通知)通知する・通知しないを設定します。通知とはロック画面などに表示される情報を指します。

- トークのメンバー変更(追加・削除)時のメッセージ
- トークからのメンバー退出時のメッセージ

再通知機能

メッセージ通知後、未読のままである時、定期的に再通知を実施する場合、本設定を行います。

- 再通知間隔
再通知を実施する間隔を設定します。
- 再通知回数
再通知を行う回数を設定します。

5.4. パスワード設定 (パスワードポリシーの設定)

メニュー [ポリシー設定]> [パスワード]を選択します。パスワードポリシーを設定して、[保存]ボタンを押下します。

InCircle管理コンソール システム担当者 個人設定 ヘルプ ログアウト

ポリシー設定 > パスワード

パスワード形式

パスワードの最小・最大文字数と文字要件を設定します。文字数は4～64の範囲で設定できます。最小文字数は8文字以上を推奨します。
(初期値: 最小文字数: 8、最大文字数: 32、文字要件: すべてチェックなし)

最小文字数:

最大文字数:

文字要件: 大文字が必須 小文字が必須 数字が必須 記号が必須

パスワード変更

パスワード有効期限 有効にする 無効にする
パスワードに有効期限を設定する場合、[有効にする]を選択してください。(初期値: 無効にする)

有効期間 (日数): 日
パスワードの有効期間を設定します。1～9999の範囲で設定できます。(初期値: 90)
ユーザーが最後にパスワードを変更してから設定された日数経過後、ユーザーのパスワード変更を促します。

パスワード有効期限の事前通知: 日前
パスワード有効期限が切れる前、事前通知を行う日(=日前)を設定します。(初期値: 14,7) 1～[有効期間(日数)]の範囲で設定できます。半角カンマ[,]区切りで最大10件の登録ができます。
(設定例) 14,7,3
上記設定の場合、パスワード有効期限の14日前、7日前、3日前にアクセスした際、通知ダイアログが表示されます。

過去パスワードの再利用制限: 制限なし
ユーザーが過去登録したパスワードの再利用制限を設定します。制限をしない場合は[制限なし]を設定します。(初期値: 制限なし)
(例) 5
ユーザーが過去登録したパスワードから直近5件と同じパスワードの登録はできません。

管理者が設定したパスワード: ユーザー変更を必須にする
管理者が設定したパスワードについて、ユーザー変更を必須とする場合[ユーザー変更を必須にする]にチェックします。(初期値: チェックなし)

ユーザーによるパスワード変更: 許可する 許可しない
[許可しない]を選択するとログインユーザー自身でのパスワード変更ができなくなります。システム管理者による管理コンソールでの変更は可能です。(初期値: 許可する)

CSV一括登録時のパスワード更新: 更新する 更新しない
[更新する]を選択するとユーザーとグループCSV一括登録の更新時(処理区分: m)にパスワード項目が必要となり、設定したパスワードで更新されます。CSV一括登録でパスワードを更新しない(既に設定されているパスワードを変更しない)場合は[更新しない]を選択します。(初期値: 更新する)

ユーザーアカウントロック

ログイン試行回数: 制限なし
ユーザーアカウントがロックされるまでのログイン試行回数を設定します。アカウントロックを行わない場合[制限なし]を設定します。(初期値: 制限なし)
60分(ロック期間が60分未満の場合はロック期間の設定値)以内、この回数を越えてログインを試みると、当該ユーザーアカウントはロックされロック期間中はログイン不可となります。

ロック期間: 分
ロック期間を設定します。5～10080の範囲で設定できます。(初期値: 60)
ロック期間を経過後、アカウントロックは自動で解除されます。アカウントロックを手動で解除する場合は、[ユーザー編集]から操作してください。

保存

パスワード形式

- ・最小文字数

パスワードの最小文字数を設定します。

- ・最大文字数

パスワードの最大文字数を設定します。

- ・文字要件

[大文字が必須][小文字が必須][数字が必須][記号が必須]から文字要件を設定します。

※本設定は次回パスワード変更処理にて有効となります。

すでに登録済みのパスワードが設定形式を満たさない場合でも、そのまま利用可能です。

パスワード変更

- ・パスワード有効期限

[有効にする][無効にする]を設定します。

- ・有効期間(日数)

パスワードの有効期間を設定します。

ユーザが最後にパスワードを変更してから、設定日数経過後、ユーザにパスワード変更を促します。

※[ユーザが最後にパスワードを変更した日時]はパスワード有効期限が[無効]の場合も保持されます。

そのため、パスワード有効期限を[有効]と変更した場合、すでに有効期間が過ぎており、強制ログアウトする可能性があります。

- ・パスワード有効期限の事前通知

パスワード有効期限が切れる前に、事前通知を行う日を設定します。

- ・過去パスワードの再利用制限

ユーザが過去に登録したパスワードの再利用制限を設定します。

- 管理者が設定したパスワード

管理者が設定したパスワードについて、ユーザ変更を必須とする場合[ユーザ変更を必須にする]にチェックします。

本設定が有効のとき、ユーザはログイン後にパスワード更新画面が表示され、パスワード変更が必須となります。

- ユーザによるパスワード変更

[許可する][許可しない]を設定します。

[許可しない]を設定すると、Android アプリ、iOS アプリ、Windows アプリ、ブラウザからログインしたユーザ自身でパスワードの変更はできません。

- CSV 一括登録時のパスワード更新

[更新する][更新しない]を設定します。

[更新する]を設定すると、CSV 一括登録のユーザ情報更新時にパスワードを上書き更新します。

[更新しない]を設定すると、CSV 一括登録のユーザ情報更新時にパスワードの更新は実行されません。ユーザが変更したパスワード情報のままとなります。

ユーザアカウントのロック

- ログイン試行回数

ユーザアカウントがロックされるまでのログイン試行回数を設定します。

60 分(ロック期間が 60 分未満の場合はロック期間の設定値)以内に、この回数を超えてログインを試みると、当該ユーザアカウントはロックされロック期間中はログイン不可となります。

すでにログインしている端末については、そのまま利用可能です。

- ロック期間

ロック期間を設定します。ロック期間経過後、アカウントロックは自動で解除されます。

アカウントロックを手動で解除する場合は、次項目を参照してください。

5.5. パスワード設定(アカウントロックの自動解除)

ログイン試行回数超過にてロックされたアカウントのロックを手動で解除します。

1. [ユーザとグループ]>[ユーザ編集]で解除するユーザの[変更]ボタンを押下します。

InCircle管理コンソール システム担当者 個人設定 ヘルプ ログアウト

ユーザとグループ > ユーザ編集

表示名称またはユーザIDを入力してください 検索

1-10 / 全10件

表示名称	ユーザID	
システム担当者	admin@localhost	変更
apiユーザ	api	変更
奥谷秀隆	h.okutani (このユーザアカウントはロックされています)	変更
鈴木花子	h.zuzuki	変更
田中健二	k.tanaka	変更

2. [ユーザ操作]タブを押下し、[アカウントのロックを解除する]ボタンを押下します。

InCircle管理コンソール システム担当者 個人設定 ヘルプ ログアウト

ユーザとグループ > ユーザ情報変更・削除

ユーザ情報 個人端末 ユーザ操作

このユーザアカウントはロックされています。ユーザ操作画面にてロックを解除できます。 アカウントのロックを解除する

最終アクセス日時：2016/02/12 15:23

操作日時	操作内容	端末種別
2016/02/12 16:29	ユーザアカウントはロックされました (ログイン試行回数が上限に達したため)	Chrome (端末コードを表示する)
2016/02/12 16:29	ログインに失敗しました [127.0.0.1]	Chrome (端末コードを表示する)
2016/02/12 16:29	ログインに失敗しました [127.0.0.1]	Chrome (端末コードを表示する)
2016/02/12 16:29	ログインに失敗しました [127.0.0.1]	Chrome (端末コードを表示する)

3. ロックが解除されます。

InCircle管理コンソール システム担当者 個人設定 ヘルプ ログアウト

ユーザとグループ > ユーザ情報変更・削除

ユーザ情報 個人端末 ユーザ操作

最終アクセス日時：2016/02/12 15:23

操作日時	操作内容	端末種別
2016/02/12 16:31	管理者によりユーザアカウントのロックは解除されました	
2016/02/12 16:29	ユーザアカウントはロックされました (ログイン試行回数が上限に達したため)	Chrome (端末コードを表示する)
2016/02/12 16:29	ログインに失敗しました [127.0.0.1]	Chrome (端末コードを表示する)
2016/02/12 16:29	ログインに失敗しました [127.0.0.1]	Chrome (端末コードを表示する)
2016/02/12 16:29	ログインに失敗しました [127.0.0.1]	Chrome (端末コードを表示する)

[ユーザ操作]タブでは、ユーザのログイン成功、ログイン失敗、ログアウト、ユーザアカウントロックなどの操作情報を確認することができます。

InCircle管理コンソール

システム担当者 個人設定 ヘルプ ログアウト

ユーザとグループ > ユーザ情報変更・削除

ユーザ情報 個人端末 ユーザ操作

最終アクセス日時：-

1/7 全7件

操作日時	操作内容	端末種別
2016/02/12 17:10	管理者によりユーザアカウントのロックは解除されました	
2016/02/12 17:09	ユーザアカウントはロックされました (ログイン試行回数が上限に達したため)	Chrome (端末コードを表示する)
2016/02/12 17:09	ログインに失敗しました [127.0.0.1]	Chrome (端末コードを表示する)
2016/02/12 17:09	ログインに失敗しました [127.0.0.1]	Chrome (端末コードを表示する)
2016/02/12 17:09	ログインに失敗しました [127.0.0.1]	Chrome (端末コードを表示する)
2016/02/12 17:09	ログアウトしました	Chrome
2016/02/12 17:09	ログインしました [127.0.0.1]	Chrome (端末コードを表示する)

version: 1.0.16.0
© AOS Technologies, Inc.

5.6. トークとメッセージの設定

メニュー [ポリシー設定]> [トークとメッセージ]を選択します。トークとメッセージポリシーを設定して、[保存]ボタンを押下します。



既読表示

- [すべてのメッセージに表示する]
 - [自分が送信したメッセージにのみ表示する]
 - [既読を表示しない]
- を設定します。

既読・未読ユーザ名表示

- [ユーザ名を表示する][ユーザ名を表示しない]を設定します。
- [ユーザ名を表示する]を設定すると、通常トークの「既読（数字）」部分がリンク表示となります。リンク押下で既読・未読ユーザを確認することができます。

※一斉同報送信機能の既読・未読ユーザの確認は本設定に関係なく確認ができます。

メッセージ最大文字数

- テキストメッセージの最大文字数を設定します。500～2000 の範囲で設定ができます。

トーク一覧括退出機能

- トーク一覧の編集画面で一括退出機能の有効・無効の設定をします。

5.7. 位置情報の設定

メニュー [ポリシー設定]> [位置情報]を選択します。位置情報ポリシーを設定して、[保存]ボタンを押下します。



位置情報の送信

[有効にする][無効にする]を設定します。

位置情報の送信機能を使用する場合は[有効にする]を設定します。

地図の表示

[表示する][表示しない]を設定します。

[表示する]を選択すると、チャット画面の位置情報に[地図]と[住所(テキスト)]が表示されます。

[表示しない]を選択すると、[住所(テキスト)]のみが表示されます。

5.8. ユーザ情報の設定

メニュー [ポリシー設定]> [ユーザ情報]を選択します。ユーザ情報ポリシーを設定して、[保存]ボタンを押下します。



ユーザによるステータスメッセージ変更

[許可する][許可しない]を設定します。

[許可する]を設定すると、Android アプリ、iOS アプリ、Windows アプリ、ブラウザからユーザ情報の[その他]項目を変更できるようになります。

[その他]項目はユーザー一覧やユーザ編集画面などに表示されます。



プレゼンス機能

[有効にする][無効にする]を設定します。

[有効にする]を設定すると、ユーザー一覧画面やプロフィール画面でユーザの状態を確認できるようになります。

ユーザが下記の条件を満たす時、オンラインとして表示されます。

(前提)

状態の設定が[オンライン]である。

- (1) Window アプリ、またはブラウザでログインし、Window アプリまたはブラウザが起動状態であるとき。
- (2) スマートデバイスでログインし、メッセージ閲覧やメッセージ送信などの操作中であるとき。
- (3) スマートデバイスでログインし、InCircle は利用していない状態(ロック画面も含む)で InCircle の通知設定が[オン]であるとき。

※OS 自体の通知がオフの場合でもオンライン表示となります。(OS の通知設定は反映しません)

※InCircle の通知設定が[オン]の状態、端末の電源を切った場合でも、オンライン表示となります。(端末の電源状態は反映しません)

5.9. パスコード設定

メニュー [ポリシー設定]> [パスコード]を選択します。パスコードポリシーを設定して、[保存]ボタンを押下します。

InCircle管理コンソール システム 個人設定 ヘルプ ログアウト

ダッシュボード ユーザとグループ アクセス端末 **ポリシー設定** ファイル トーク削除 通知 パスワード トークとメッセージ 位置情報 接続情報 **パスワード** スクリーン API システム

version: 11.0.0.0 © AOS Technologies, Inc.

ポリシー設定 > パスコード

スマートデバイスの InCircle アプリで使用できる [パスコード機能] についての設定です。パスコード機能は第三者による不正なアプリ利用を防ぐ機能で、ユーザがパスコードを設定している場合、InCircle アプリがアクティブになる際にパスコードの入力を求めます。

基本設定

パスコード桁数
4~8 の間で設定してください。(初期値:4)

最大試行回数
強制ログアウトされるまでの入力試行回数を4~10の間で設定します。この回数連続でパスコード入力を失敗した場合、その端末のInCircleアプリは強制的にログアウトされ、再ログインが必要となります。(初期値: 4)

パスコードの強制 パスコード設定を強制する
全ユーザに対してパスコードの利用を義務付ける場合(パスコード設定を強制する)にチェックします。(初期値: チェックなし)

ロック時間設定

自動パスコードロック 有効にする 無効にする
自動パスコードロックを設定する場合、[有効にする]を選択してください。(初期値: 無効にする)
有効にする場合、InCircleアプリがアクティブの状態でも一定時間ユーザによる操作が行われなかった場合にはパスコード入力画面を表示します。

自動ロックまでの時間 (分) 分
自動パスコードロックされるまでの時間を3~60分の間で設定します。(初期値: 5分)

アプリ切り替え時のパスワード入力 毎回入力する 一定時間内は省略する
InCircleアプリがアクティブになる際に必ずパスワード入力をさせたい場合は[毎回入力する]を選択してください。(初期値: 毎回入力する)
短期間の非アクティブであればパスワード入力を省略する場合は[一定時間内は省略する]を選択してください。(初期値: 毎回入力する)
※InCircleアプリとブラウザ、メールアプリなど、複数のアプリを小まめに切り替えて活用するケースでは一定時間内は省略する設定が便利です。

パスワード入力を省略する期間 (分) 分
パスワード入力を免除する時間を1~60分の間で設定します。最後のパスワード認証成功から、設定した時間内はパスワードの再入力を求めません。(初期値: 3分)

Touch ID (指紋認証)

指紋認証の併用 有効にする 無効にする
Touch ID (iOSの指紋認証機能) を利用する場合、[有効にする]を選択してください。(初期値: 無効にする)
有効にする場合、Touch ID対応のOS端末ではInCircleアプリの設定画面に「Touch ID設定 ON/OFF」の項目が表示されます。
これにより、ユーザはパスワード入力の代わりに指紋認証を利用することができます。
※Touch IDが ON の場合でも、通常通りパスワードの入力ができます。また、Touch ID非対応の端末には本設定は影響しません。

保存

基本設定

・パスコード桁数

パスコードの桁数を設定します。

・最大試行回数

パスコード機能は、複数回パスコードが異なった場合、InCircle から強制ログアウトされます。本設定で試行回数を設定します。

・パスコードの強制

全ユーザにパスコード設定を強制する場合、本項目をチェックします。

ロック時間設定

・自動パスコードロック

自動パスコードロックの[有効][無効]を設定します。[有効]にした場合、InCircle がフォアグラウンド状態(例えば、InCircle のチャット画面を表示したままの状態)で、一定時間経過するとパスコード画面が表示されます。

・アプリ切り替え時のパスコード入力

アプリを切り替える時(例えば、InCircle を開いていて、ホーム画面に戻り、他のアプリを操作し再び InCircle を開く場合など)のパスコード入力について[毎回入力する][一定時間内は省略する]を設定します。

必ずパスコード画面を表示する場合は[毎回入力する]を設定します。

一度パスコード解除した後、しばらくの間はパスコード画面を表示したくない場合は[一定時間内は省略する]を設定します。

Touch ID (指紋認証)

・指紋認証の併用

iOS アプリについて、iOS 提供の指紋認証機能について[有効][無効]を設定します。

[有効]にした場合、各ユーザが指紋認証機能をオンに設定すると、iOS 端末に登録済みの指紋情報を利用して InCircle のパスコード解除が可能となります。

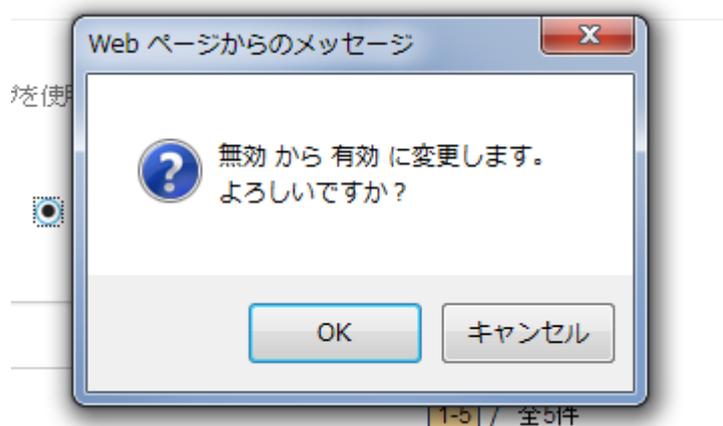
第6章. スタンプ

6.1. スタンプ機能を有効(無効)にする

1. メニュー [スタンプ]> [スタンプ設定] を選択します。スタンプ機能[有効にする][無効にする]を選択します。



2. 確認画面で[OK]を押下します。



6.2. スタンプの新規登録

1. メニュー [スタンプ]> [スタンプ設定]を選択します。[新規スタンプ登録]ボタンを押下します。



2. 新規スタンプ情報を入力し、[保存]ボタンを押下します。

InCircle管理コンソール

システム担当者 個人設定 ヘルプ ログアウト

スタンプ > 新規スタンプ登録

この画面では基本情報のみを登録します。スタンプ画像は登録後、[スタンプ編集画面]→[スタンプ画像]タブから登録してください。

表示順* 2000
アプリのスタンプ送信画面にて、左から昇順に表示されます。

タイトル* タイトルを入力してください (例) 社内スタンプ-営業さん、社内スタンプ-情報システムさ

説明
説明を入力してください (例) 営業の人が活用できるスタンプ、情報システムの人が活用できるスタンプ

表示する言語
 すべての言語
 選択した言語のみ
 英語
 日本語
 韓国語
 指定した言語を使っているユーザのメッセージ送信画面にこのスタンプが表示されます。
 作成したスタンプで「いいね!」などの言語に依存する文言等が含まれている場合、言語毎に利用可能なスタンプを区別することができます。

保存

表示順 (必須)

スタンプを表示する順番を入力します。クライアントのスタンプ選択画面で左から昇順に表示されます。

タイトル(必須)

タイトルを入力します。

※管理コンソールのみで利用します。クライアントには表示されません。

説明

説明を入力します。

※管理コンソールのみで利用します。クライアントには表示されません。

表示する言語

登録するスタンプを表示するクライアントの言語を設定します。

指定した言語を使っているユーザのメッセージ送信画面にこのスタンプが表示されます。

6.3. スタンプの検索

メニュー[スタンプ]> [スタンプ設定]を選択します。検索ボックスにスタンプのタイトルを入力し[検索]ボタンを押下します。



6.4. スタンプの編集

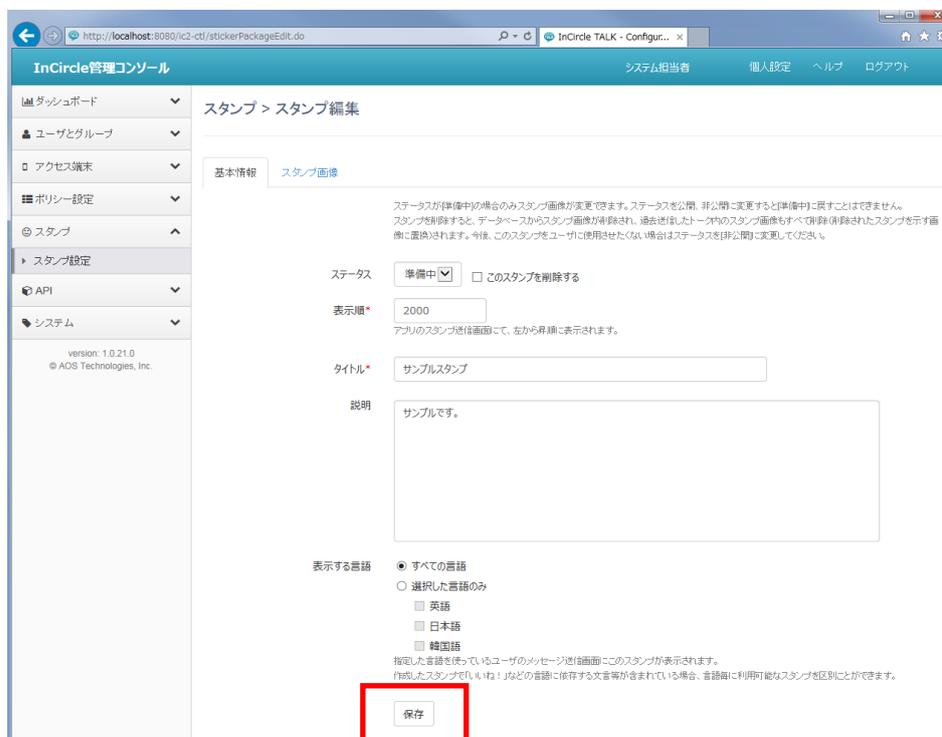
1. メニュー[スタンプ]> [スタンプ設定]で編集するスタンプの[変更]ボタンを押下します。



2. スタンプ情報を変更し、[保存]ボタンを押下します。

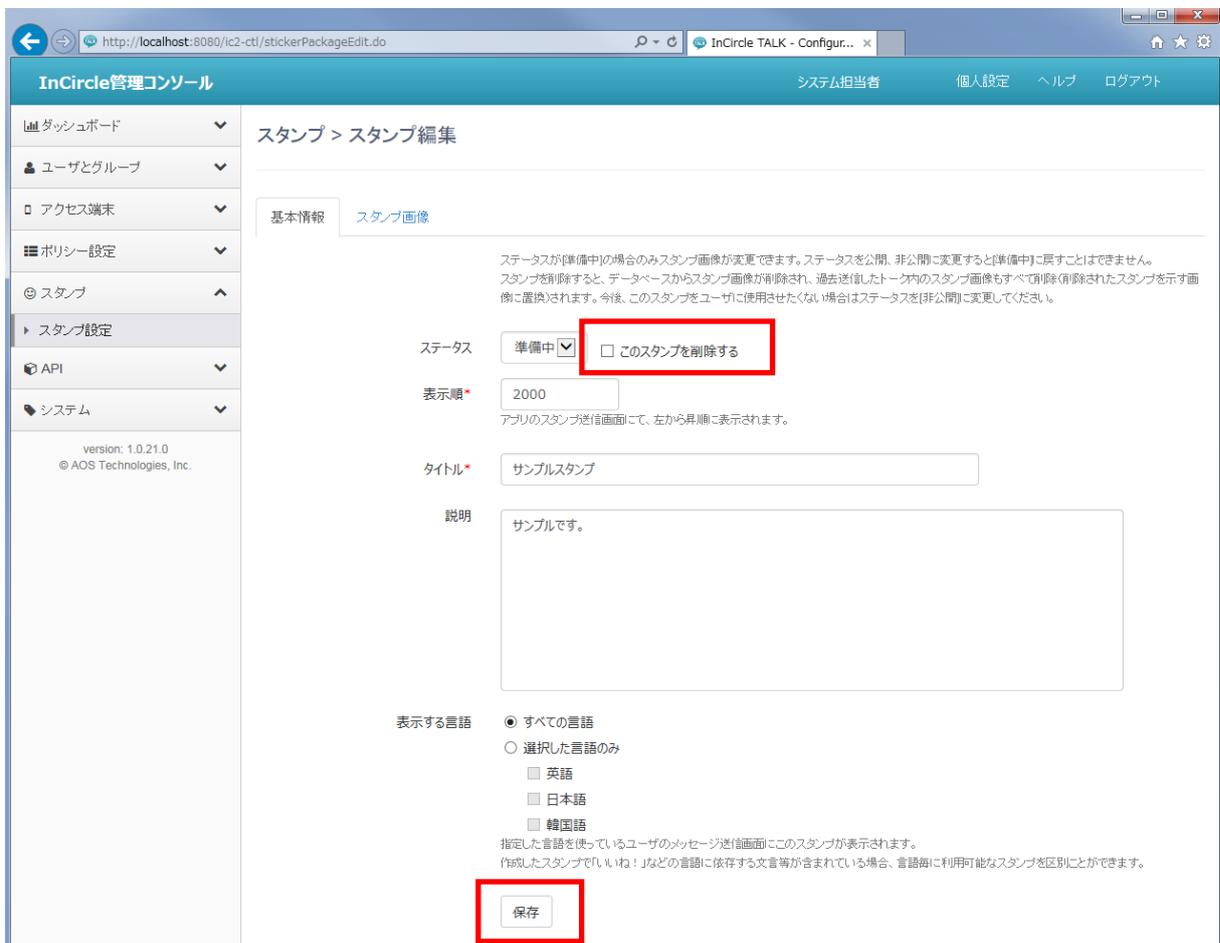
※ステータスが[準備中]のみスタンプ画像を変更できます。ステータスを公開、非公開に変更すると[準備中]に戻すことはできません。

※公開できるスタンプは最大10個です。



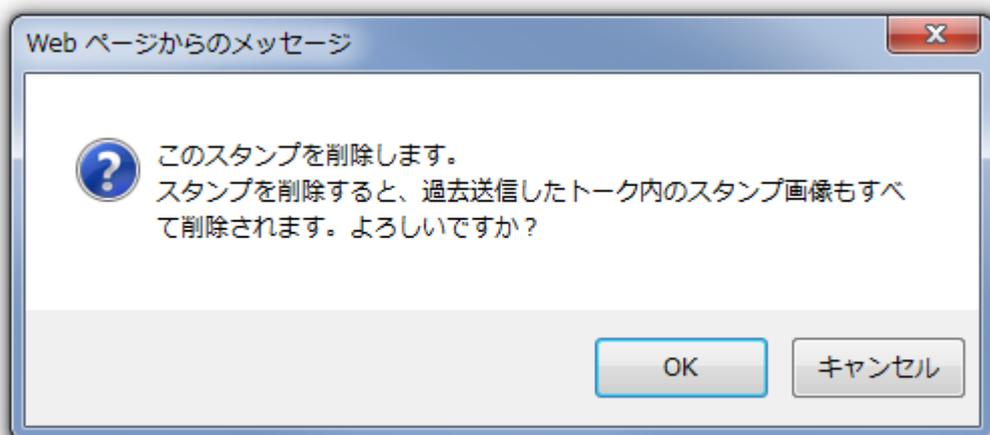
6.5. スタンプの削除

1. スタンプ編集画面にて[このスタンプを削除する]をチェックし、[保存]を押下します。



2. 確認画面で[OK]を押下します。

※スタンプを削除すると、データベースからスタンプ画像が削除され、過去送信したトーク内のスタンプ画像もすべて削除(削除されたスタンプを示す画像に置換)されます。



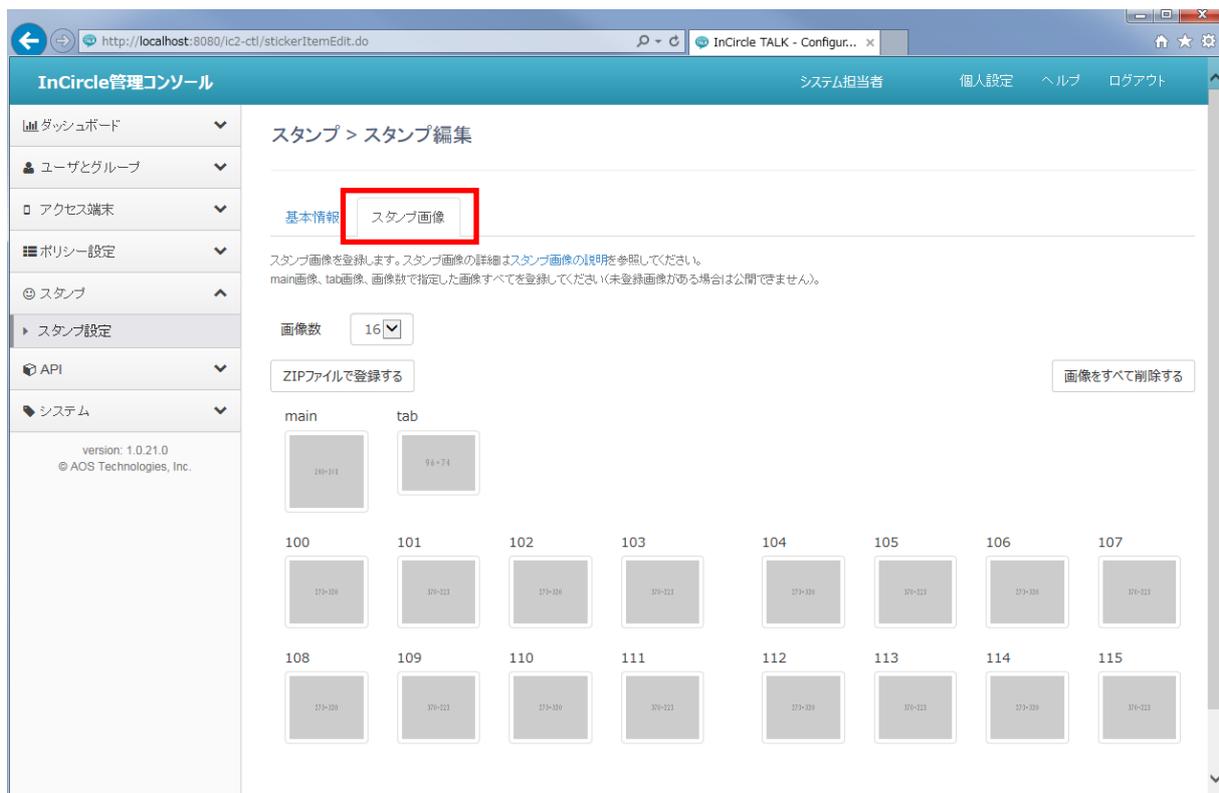
6.6. スタンプ画像の登録

ユーザが使用するスタンプ画像を登録します。スタンプ画像の登録はスタンプ編集画面にて行います。

1. メニュー[スタンプ]> [スタンプ設定]で編集するスタンプの[変更]ボタンを押下します。



2. [スタンプ画面]タブを選択し、画像を登録します。



画像数

スタンプ画像の数を選択します。

ZIP ファイルで登録する

ZIP ファイルをアップロードして、複数の画像をまとめて登録します。

画像をすべて削除する

登録した画像をすべて削除します。

画像アップロード領域

登録する画像領域をマウスオーバーします。[アップロード]ボタンを押下し画像をアップロードします。

※ステータスが[準備中]の場合のみスタンプ画像が変更できます。

第7章. API

7.1. API 設定

メニュー [API]> [API 設定]を選択します。API 情報を設定して、[保存]ボタンを押下します。
API はユーザ登録にてアクセス権限[API ユーザ]を作成し、利用します。

The screenshot shows the InCircle management console interface. The browser address bar displays `http://localhost:8080/ic2-ctl/configSystem.do?config=apiConfig&category=0`. The page title is "InCircle管理コンソール". The left sidebar contains a navigation menu with items: ダッシュボード, ユーザとグループ, アクセス端末, ポリシー設定, スタンプ, API, API 設定 (highlighted with a red box), API 利用料, and システム. The main content area is titled "API > API 設定". It contains introductory text about InCircle API usage and a "プラン設定" section with "ご利用プラン" set to "無料プラン" and "使用ポイント上限" set to "1,000ポイント". Below that is the "システム設定" section, which includes "API機能" (set to "有効"), "IPアドレス制限" (set to "制限しない"), and a "許可するIPアドレス*" field with a text area for input. The "保存" button at the bottom is highlighted with a red box.

プラン設定

- ご利用プラン

現在のプラン名が表示されます。

- 使用ポイント上限

無料プランの場合、1,000 ポイント固定です。

有料プランの場合、セレクトボックスより設定します。

システム設定

- API 機能

[有効][無効]を設定します。

[有効]を設定すると、API ユーザにて API アクセスが可能となります。

- IP アドレス機能

API アクセス元の IP について、[制限する][制限しない]を設定します。

- 許可する IP アドレス

API アクセス元の IP について、許可する IP アドレスを設定します。

7.2. API ユーザの登録

メニュー [ユーザとグループ]> [新規ユーザ登録]を選択します。API ユーザ情報を入力し、アクセス権限を[API ユーザ]とし、[保存]ボタンを押下します。

The screenshot shows the 'InCircle管理コンソール' (InCircle Management Console) interface. The left sidebar contains a menu with '新規ユーザ登録' (New User Registration) highlighted in red. The main content area is titled 'ユーザとグループ > 新規ユーザ登録' (Users and Groups > New User Registration). The form includes the following fields and options:

- ユーザID* (User ID): Text input field.
- アクセス権限* (Access Rights): Dropdown menu with 'APIユーザ' (API User) selected. A red box highlights this dropdown. A red note next to it reads: '※システム管理者、監査ユーザおよびAPIユーザは、登録後アクセス権限を変更できません' (Note: System administrators, audit users, and API users cannot change their access rights after registration).
- パスワード (Password): Text input field.
- 確認入力 (Confirmation Input): Text input field.
- 表示名称* (Display Name): Text input field.
- メールアドレス (Email Address): Text input field.
- ユーザ名 (ふりがな) (User Name (Kana)): Text input field with '姓' (Surname) and '名' (Given Name) labels.
- ユーザ名 (ローマ字) (User Name (Roman)): Text input field with '姓' (Surname) and '名' (Given Name) labels.
- 言語 (Language): Dropdown menu with '日本語' (Japanese) selected.
- タイムゾーン (Time Zone): Dropdown menu with 'Asia/Tokyo' selected.
- ユーザ画像 (User Image): Profile icon button.
- グループ (Group): Text input field.
- その他 (Other): Text input field.
- 一斉同報送信 (Bulk Notification): Radio buttons for '許可する' (Allow) and '許可しない' (Do not allow). '許可しない' is selected.
- 保存 (Save): Button highlighted with a red box.

※API ユーザは、Android、iOS、Windows アプリ、ブラウザからログインすることはできません
API アクセス利用のみができるアカウントです。

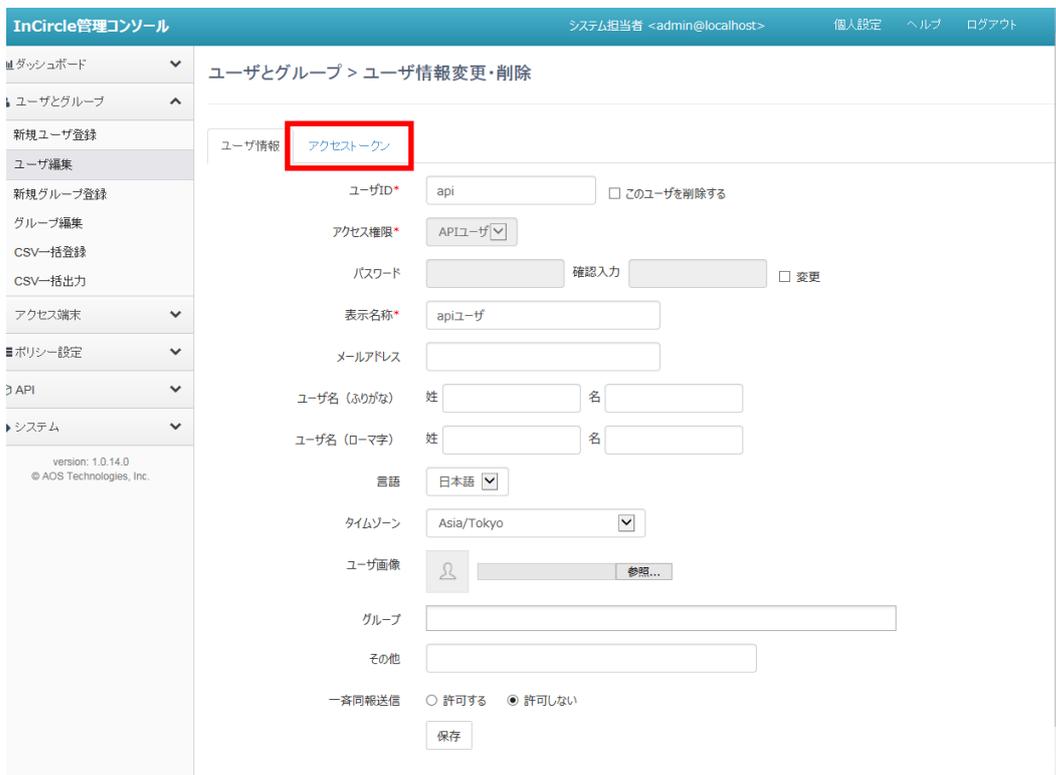
7.3. API ユーザのアクセストークン作成

API 利用のためのアクセストークンを作成します。API の詳細については API ドキュメントを参照してください。

1. [ユーザとグループ] > [ユーザ編集] で API ユーザの[変更]ボタンを押下します。



2. [アクセストークン]タブを押下します。



3. [有効期限]を設定し、[トークン ID を作成]ボタンを押下します。



※作成後、トークン ID の有効期限は変更できません。

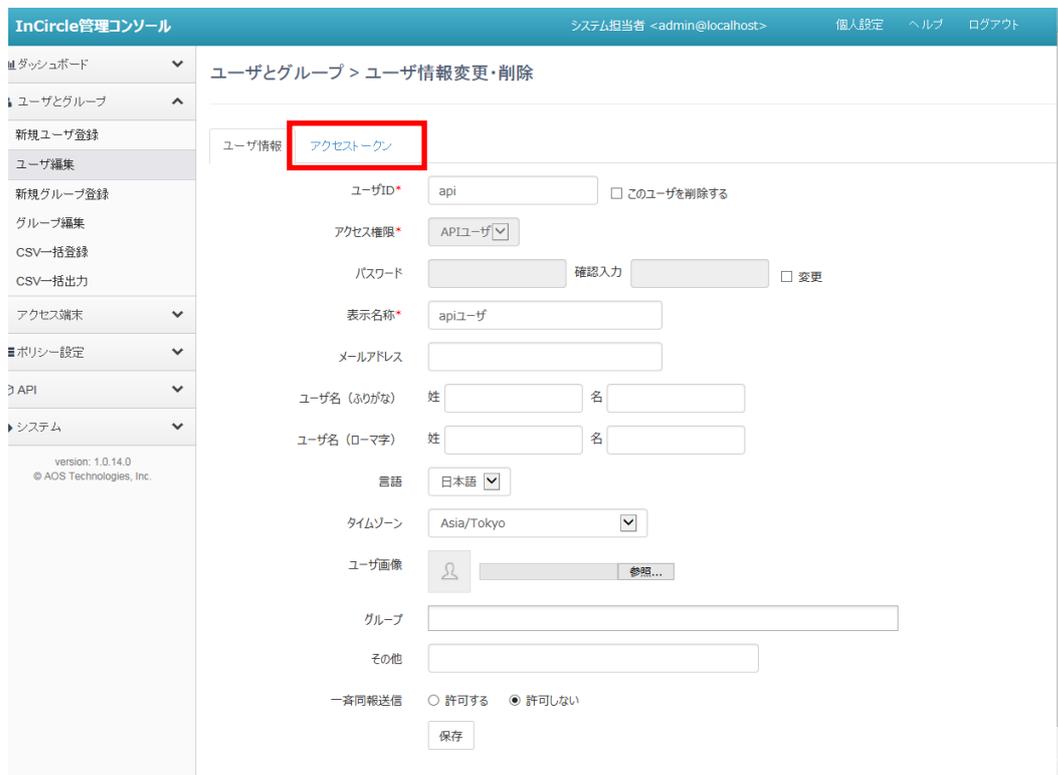
7.4. API ユーザのアクセストークン削除

API ユーザのアクセストークンを削除します。

1. [ユーザとグループ] > [ユーザ編集] で API ユーザの[変更]ボタンを押下します。



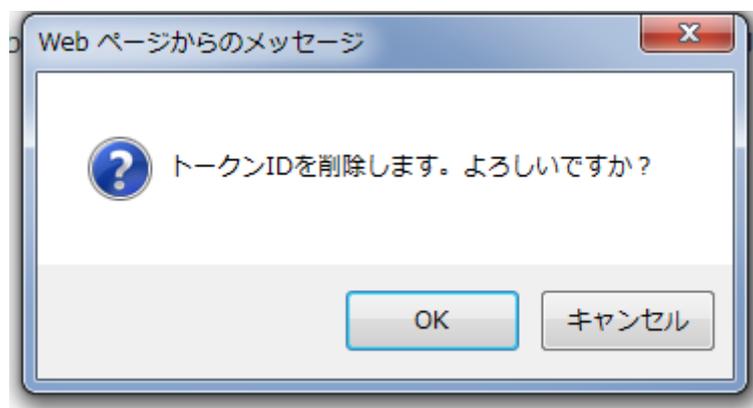
2. [アクセストークン]タブを押下します。



3. [削除]を押下します。



4. 確認画面で[OK]を押下します。



7.5. Webhook の設定

API ユーザの Webhook 設定をします。詳細については Webhook ドキュメントを参照してください。

1. [ユーザとグループ] > [ユーザ編集] で API ユーザの[変更]ボタンを押下します。



2. [Webhook] タブを押下します。



3. Webhook 情報を入力し、[更新]ボタンを押下します。

WebhookID (必須)

この API ユーザの Webhook の ID を入力します。4～16 文字の半角英数字記号を設定します。記号は”_ (アンダーバー)”のみ利用できます。WebhookID は[Webhook URL]に送信されます。

Webhook URL(必須)

本サービスからリクエストを受信する URL を入力します。http または https から始まる 256 文字以下を設定します。

通知失敗時の再通知

Webhook URL への通知が失敗した際の再通知について設定します。

[再通知しない]を設定すると、Webhook URL のレスポンスがエラーとなった場合でも送信は 1 回のみとなります。[再通知する]を設定すると、最大 5 回まで送信を実行します。

シークレットキー

Webhook URL への送信元が本サービスであることを確認するために利用する秘密鍵を設定します。

ステータス

[Webhook]を利用する場合は[有効]を設定します。複数回連続して Webhook URL のレスポンスがエラーとなった場合は[強制停止]に変更されます。

4. [直近の通知結果]が表示されます。

InCircle管理コンソール システム 個人設定 ヘルプ ログアウト

ユーザとグループ > Webhook

ユーザ情報 アクセストークン Webhook

APIユーザに送信されたメッセージや、トーク内のイベントを通知するWebhookを設定します。

Webhook設定

WebhookID* sample
WebhookのIDを設定します。WebhookIDは[Webhook URL]に送信されます。

Webhook URL* https://localhost/icc/
本サービスからリクエストを受信するURLを設定します。
[ステータスが有効状態で][更新ボタン]を押下すると、Webhook URLが正常に受信可能であることを確認することができます。

通知失敗時の再通知 再通知しない
Webhook URLへの通知が失敗した際の再通知について設定します。
[再通知しない]を設定すると、Webhook URLのレスポンスがエラーとなった場合でも送信は1回のみとなります。
[再通知する]を設定すると、最大5回まで送信を実行します。

シークレットキー
Webhook URLへの送信元が本サービスであることを確認するために利用する秘密鍵です。

ステータス 有効
ステータス更新日時：2019/09/30 16:37
[Webhook]を利用する場合は[有効]を選択します。
また、複数回連続してWebhook URLのレスポンスがエラーとなった場合は[強制停止]に変更されます。

更新

直近の通知結果

通知実施日時 2019/09/30 16:37:51 JST

レスポンスコード 200

レスポンスボディ

※レスポンスボディが256文字を超える場合、256文字までが表示されます。

直近の通知結果は以下の条件で実行した結果が表示されます。

- 本画面にて[ステータス]有効状態で[更新]ボタンを押下した際、Webhook URL にテスト通知を実施した結果
- 実際に API ユーザに送信されたメッセージや、トーク内のイベントを Webhook URL に通知した結果

通知実施日時

通知処理が実行された日時が表示されます。日時は管理コンソールログインユーザのタイムゾーンになります。

レスポンスコード

通知処理のレスポンスコードが表示されます。以下のようなコードが表示されます。

- [1] 1度も処理が実施されていない状態
- [-100] 意図しない接続エラー
- [408] Webhook URL サーバ接続タイムアウト

上記以外は、Webhook URL のレスポンスにて取得した HTTP ステータスコード(403、404 など)になります。[200]は処理成功となります。

レスポンスボディ

通知処理のレスポンスボディが表示されます。256文字を超える場合は、256文字までが表示されません。

7.6. API 利用料の確認

メニュー [API]> [API 利用料]を選択します。月ごとの API の利用状況を確認することができます。

InCircle管理コンソール API > API利用料

API利用状況の確認画面です。プラン変更をご希望の場合は、InCircleサポートまでご連絡ください。
また、有料プランの[使用ポイント上限]はAPI > AP設定にて設定してください。API料金プランの詳細については[こちら](#)を参照してください。

日付: 2017年04月

ご利用プラン: 無料プラン (使用ポイント上限: 1,000ポイント)

利用料金と利用ポイント

項目	金額・ポイント
InCircle API利用料金	0 円
InCircle API利用ポイント	5 ポイント

利用ポイント詳細

日付	テキスト	画像	動画	添付ファイル	スタンプ	位置情報	小計
04月01日	0	0	0	0	0	0	0
04月02日	1	1	1	1	1	0	5
04月03日	0	0	0	0	0	0	0
04月04日	0	0	0	0	0	0	0
04月05日	0	0	0	0	0	0	0
04月06日	0	0	0	0	0	0	0
04月07日	0	0	0	0	0	0	0
04月08日	0	0	0	0	0	0	0
04月09日	0	0	0	0	0	0	0

日付

表示する月を選択します。

利用料金と利用ポイント

選択した月の利用料と利用ポイントが表示されます。料金の詳細については本画面の説明にあるリンクを確認します。

利用ポイント詳細

選択した月の1日から末日までの日毎のメッセージ種類のポイント利用詳細が表示されます。

第8章. シングルサインオン

8.1. SAML 認証

本機能はオプションです。ご利用の際は別途お申込みが必要です。

メニュー [シングルサインオン]> [SAML 認証] を選択します。SAML 認証の設定内容を確認します。設定内容は閲覧のみとなります。設定内容を変更する場合は、InCircle サポートまでご連絡ください。

The screenshot shows the InCircle management console interface. The top navigation bar includes 'InCircle管理コンソール', 'システム担当者', '個人設定', 'ヘルプ', and 'ログアウト'. The left sidebar contains a menu with items: 'ダッシュボード', 'ユーザとグループ', 'アクセス端末', 'ポリシー設定', 'スタンプ', 'API', 'シングルサインオン', 'SAML認証', and 'システム'. The 'SAML認証' item is highlighted with a red box. The main content area displays 'シングルサインオン > SAML認証' and '現在の設定: SAML認証は有効です'. At the bottom of the sidebar, the version '13.0.50.0' and copyright '© AOS Technologies, Inc.' are visible.

第9章. システム

9.1. ライセンス数の確認

メニュー [システム]> [ユーザライセンス]を選択します。利用可能なユーザライセンス数を確認します。



メモ

- ・システム管理者、ユーザ管理者、監査ユーザ、API ユーザ (SaaS 版) はユーザライセンス数にカウントされません。
- ・オンプレミス版をご利用の場合は API ユーザはライセンス数にカウントされます。

9.2. コンソールの操作ログ

メニュー [システム]> [操作履歴]を選択します。操作履歴を確認します。



操作日時	操作ユーザ	操作区分	操作内容
2015/10/27 14:24	システム担当者	ログイン・ログアウト	ログインしました [127.0.0.1]
2015/10/27 12:55	システム担当者	ユーザとグループ	APIユーザのアクセストークンIDを作成しました [apiユーザ]
2015/10/27 12:51	システム担当者	ログイン・ログアウト	ログインしました [127.0.0.1]
2015/10/27 12:14	システム担当者	ログイン・ログアウト	ログアウトしました
2015/10/27 12:14	システム担当者	ユーザとグループ	ユーザを登録しました [apiユーザ]
2015/10/27 10:59	システム担当者	ログイン・ログアウト	ログインしました [127.0.0.1]
2015/10/27 10:47	システム担当者	ログイン・ログアウト	ログインしました [127.0.0.1]
2015/10/26 15:57	システム担当者	ログイン・ログアウト	ログアウトしました
2015/10/26 15:07	システム担当者	ログイン・ログアウト	ログインしました [127.0.0.1]

システム管理者は監査ユーザの操作ログを閲覧することはできません。

監査ユーザ(すべてのグループの監査権限を持つユーザ)は、システム管理者、ユーザ管理者、別の監査ユーザの操作ログを閲覧することができます。

第10章. ダッシュボード

10.1. 利用統計をみる

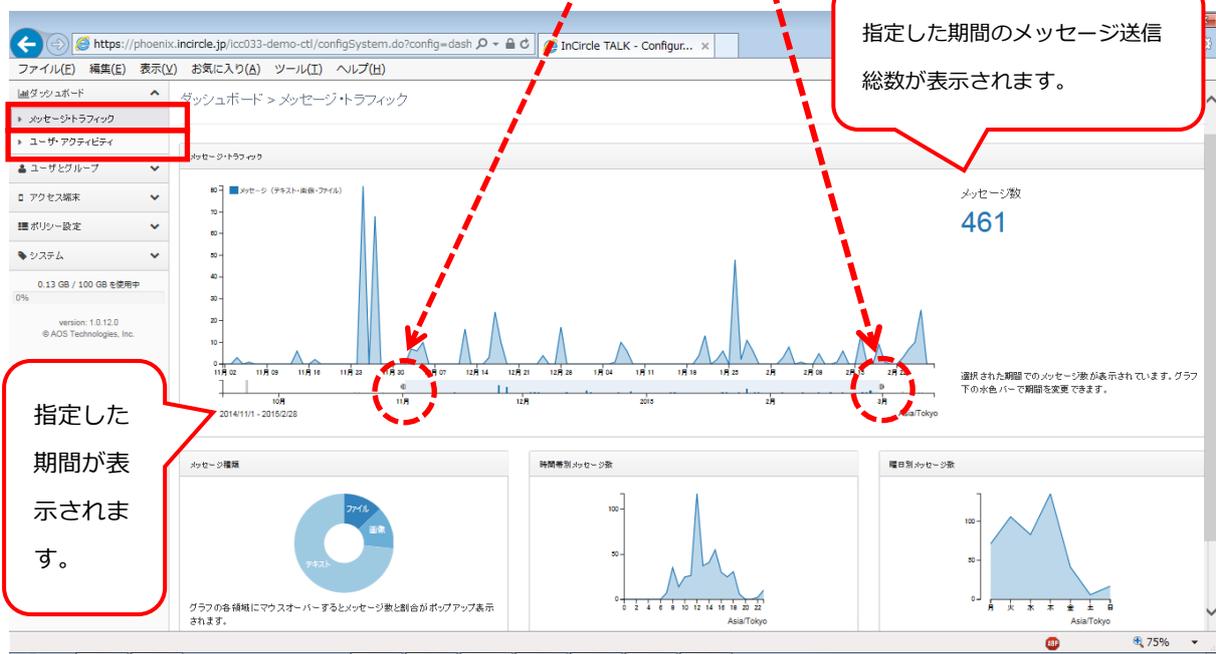
1. [ダッシュボード] > [メッセージ・トラフィック] をクリックします。
2. 利用統計を確認する期間をグラフ下の水色のバーの両端をカーソルで指定します。

メモ

指定する期間は1日以上の間をご指定ください。

1日より短い期間の場合、グラフが正しく表示されない場合があります。

3. 右上に指定した期間のメッセージ送信総数、画面した半分は分析結果のグラフが表示されます。



画面下半分に表示されるグラフは以下の 3 種類があります。

1. メッセージ種類

グラフの各領域(ファイル、画像、テキスト)にカーソルを重ねると割合がツールチップで表示されます。



2. 時間帯別メッセージ数

指定した期間の時間帯別の送信総数が表示されます。

3. 曜日別メッセージ数

指定した期間の曜日別の送信総数が表示されます。

※グループ指定されたユーザ管理者が閲覧した場合でも、全ユーザのメッセージ・トラフィックが表示されます。

10.2. 利用・非利用ユーザー一覧

1. [ダッシュボード] > [ユーザ・アクティビティ]をクリックします。
2. 利用していないユーザを確認する場合は、[非アクティブユーザをダウンロード]を、利用ユーザを確認する場合は、[アクティブユーザをダウンロード] をクリックします。ユーザー一覧のダウンロードの確認メッセージが表示されますので[はい] をクリックします。

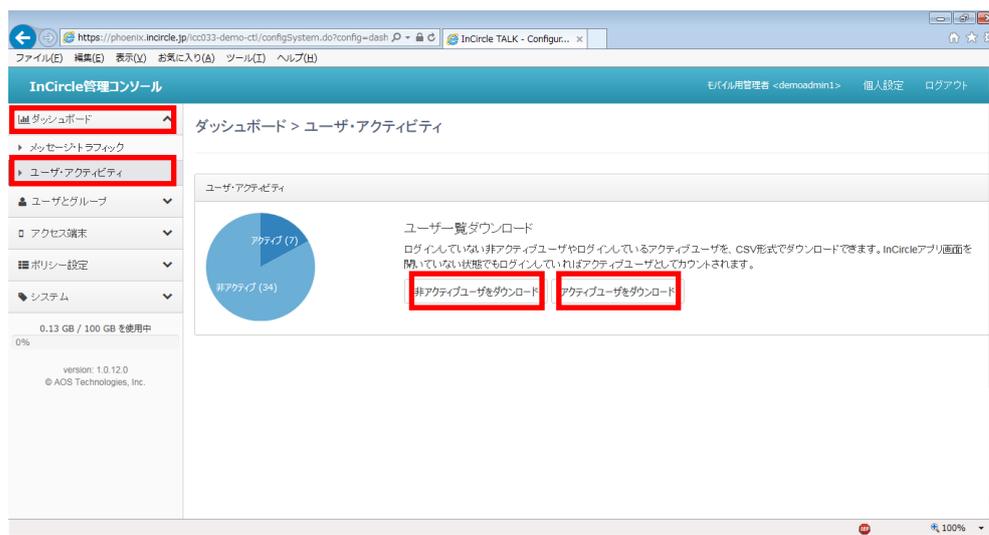
メモ

非アクティブユーザとは？

以下のいずれかに該当するユーザが非アクティブユーザです。

- InCircle アプリケーションに一度もログインしていないユーザ
- ログインしてから 30 日経過するとセキュリティ上、自動的にログアウトされ、改めてログインしていないユーザ
- ログアウトしているユーザ

尚、ログインした状態で端末電源オフ、InCircle アプリケーションの終了、もしくは最小化している場合はアクティブユーザに振り分けられます。



3. [保存]ボタンを押下します。

※グループ指定されたユーザ管理者が操作した場合、ログインユーザが管理するグループに登録されているユーザのみ表示されます。

第11章. メッセージ情報の出力(監査機能)

11.1. 監査ユーザの登録

メッセージ情報の出力は[監査ユーザ]のみが実行できます。

メニュー [ユーザとグループ]> [新規ユーザ登録]を選択します。監査ユーザ情報を入力し、アクセス権限を[監査ユーザ]とし、[保存]ボタンを押下します。

監査するグループについて[すべてのグループ]を設定した場合、全ユーザのログを出力することができます。[下記で指定したグループ]を設定した場合、指定したグループに登録されているユーザのみのログを出力することができます。

The screenshot shows the 'InCircle管理コンソール' (InCircle Management Console) interface. The left sidebar has a menu with '新規ユーザ登録' (New User Registration) highlighted in red. The main content area is titled 'ユーザとグループ > 新規ユーザ登録' (Users and Groups > New User Registration). The form contains the following fields and options:

- ユーザID*: [Text input field]
- アクセス権限*: [Dropdown menu] with '監査ユーザ' (Audit User) selected and highlighted in red. A red note next to it reads: 'システム管理者、ユーザ管理者、監査ユーザおよびAPIユーザは、登録後アクセス権限を変更できません' (System administrators, user administrators, audit users, and API users cannot change their access rights after registration).
- パスワード: [Text input field]
- 確認入力: [Text input field]
- 表示名称*: [Text input field]
- メールアドレス: [Text input field]
- 電話番号: [Text input field]
- ユーザ名 (ふりがな): 姓 [Text input field] 名 [Text input field]
- ユーザ名 (ローマ字): 姓 [Text input field] 名 [Text input field]
- 言語: [Dropdown menu] with '日本語' (Japanese) selected.
- タイムゾーン: [Dropdown menu] with 'Asia/Tokyo' selected.
- ユーザ画像: [User icon placeholder]
- 監査するグループ: すべてのグループ 下記で指定したグループ
- その他: [Text input field]
- 一斉同報送信: 許可する 許可しない
- [保存] (Save) button highlighted in red.

At the bottom left of the page, it says: version: 12.0.13.0 © AOS Technologies, Inc.

11.2. メッセージの出力

監査ユーザでログインし、メニュー [監査]> [検索・メッセージ出力]を選択します。
出力条件を指定し、[出力開始]ボタンを押下します。

**期間**

出力対象となるメッセージの期間を設定します。空の場合は全データが対象となります。

トーク名

出力対象となるトーク名を設定します。空の場合は全データが対象となります。

ユーザ名

出力対象となるユーザ表示名称を設定します。空の場合は全データが対象となります。

画像、動画、添付ファイル・・・も出力する

ファイルを出力する場合は、チェックします。

※出力可能な対象データの合計は 1GB までです。1GB を超過する場合は、条件を絞り込んで再度[出力開始]ボタンを押下してください。

また、1度に出力可能なメッセージ数は最大で 200 万メッセージまでです。200 万を超過する場合はエラーメッセージは表示さないため、200 万メッセージ以下となるように期間等の条件を設定し再度実行してください。

出力ファイルのダウンロードは [監査]> [出力ファイル一覧]画面から行ってください。

11.3. 出力ファイルのダウンロード

監査ユーザでログインし、メニュー [監査]> [出力ファイル一覧]を選択します。
[ダウンロード]リンクを押下し、データをダウンロードします。



出力ファイルは作成から 48 時間が経過すると自動的に削除されます。
出力が完了していないデータはステータスが[出力待ち]となりデータをダウンロードできません。
一定時間後に再度ご確認ください。

※監査するグループについて[すべてのグループ]が設定されているユーザは、自分以外の監査ユーザ
が出力したファイルの閲覧、ダウンロード、削除が可能です。

出力ファイルは以下の項目が出力されます。

トーク番号

InCircle システムで管理されているトークの番号です。

トーク名

トークの名前です。

メッセージ番号

InCircle システムで管理されているメッセージの番号です。

メッセージ内容

送信されたメッセージの内容です。

作成日付

メッセージが送信された日時です。出力設定を行った監査ユーザのタイムゾーンで出力されます。

ステータス

メッセージのステータスです。

0: 通常のメッセージです

1: 削除されたメッセージです

送信ユーザ番号

InCircle システムで管理されているメッセージを送信したユーザの番号です。

送信ユーザ ID

メッセージを送信したユーザの ID です。

送信ユーザ名

メッセージを送信したユーザの表示名称です。

トークメンバー

トークのメンバーです。※150 を超過する場合は表示されません。

添付ファイルをダウンロードしたユーザ

添付ファイルメッセージについて、ダウンロードを実行したユーザの表示名称です。

※本項目は 2017 年 6 月リリース(V11.X.X.X)の新機能です。そのため、それ以降に実行したユーザのみ表示対象となります。

第12章. モニタリング機能(監査機能)

モニタリング機能はモニタリングポリシーを登録し条件に一致するメッセージを検知確認する機能です。モニタリングポリシー設定に通知ユーザを登録すると、検知情報の通知を受け取ることができます。また、メッセージ情報出力にてモニタリングポリシーで検知されたメッセージを出力することができます。

モニタリング機能は[監査ユーザ]のみが実行できます。

監査するグループについて[すべてのグループ]を設定した場合、全ユーザのメッセージを対象にモニタリングすることができます。

[下記で指定したグループ]を設定した場合、指定したグループに登録されているユーザのみのモニタリングすることができます。

The screenshot shows the 'InCircle管理コンソール' (InCircle Management Console) interface. The left sidebar contains a menu with '新規ユーザ登録' (New User Registration) highlighted in red. The main content area is titled 'ユーザとグループ > 新規ユーザ登録' (Users and Groups > New User Registration). The form includes the following fields and options:

- ユーザID***: Text input field.
- アクセス権限***: Dropdown menu set to '監査ユーザ' (Audit User). A red box highlights this dropdown. A warning message states: 'システム管理者、ユーザ管理者、監査ユーザおよびAPIユーザは、登録後アクセス権限を変更できません。' (System administrators, user administrators, audit users, and API users cannot change their access rights after registration.)
- パスワード**: Text input field with a '確認入力' (Confirm input) field next to it.
- 表示名称***: Text input field.
- メールアドレス**: Text input field.
- 電話番号**: Text input field.
- ユーザ名 (ふりがな)**: Text input fields for '姓' (Surname) and '名' (Name).
- ユーザ名 (ローマ字)**: Text input fields for '姓' (Surname) and '名' (Name).
- 言語**: Dropdown menu set to '日本語' (Japanese).
- タイムゾーン**: Dropdown menu set to 'Asia/Tokyo'.
- ユーザ画像**: User icon placeholder.
- 監査するグループ**: Radio buttons for 'すべてのグループ' (All Groups) and '下記で指定したグループ' (Specify group below). 'すべてのグループ' is selected.
- その他**: Text input field.
- 一斉同報送信**: Radio buttons for '許可する' (Allow) and '許可しない' (Do not allow). '許可しない' is selected.
- 保存**: A red box highlights the '保存' (Save) button at the bottom of the form.

12.1. モニタリングポリシーの登録

トークで送られるテキストやファイルをモニタリングするためのポリシーを登録します。

メニュー [監査]>[モニタリングポリシー登録] を選択します。

新規モニタリングポリシー情報を入力し、[保存]ボタンを押下します。

※登録可能なポリシー数はシステム全体で100個です。システム全体で登録されているポリシー数は[すべてのグループ]の権限を持つ[監査ユーザ]で確認してください。

※ポリシー登録前に投稿されたメッセージはモニタリング対象外となります。

The screenshot shows the 'InCircle管理コンソール' (InCircle Management Console) interface. The left sidebar has a menu with 'モニタリングポリシー登録' (Monitoring Policy Registration) highlighted in a red box. The main content area is titled '監査 > モニタリングポリシー登録' (Audit > Monitoring Policy Registration). It contains a form with the following fields:

- ポリシー名* (Policy Name): Text input field.
- モニタリングタイプ* (Monitoring Type): Dropdown menu with 'メッセージ内容' (Message Content) selected.
- キーワード (Keyword): Text input field.
- APIユーザの投稿* (API User Posting): Radio buttons for '含める' (Include) and '含めない' (Exclude), with '含めない' selected.
- 通知先ユーザID (Notification User ID): Text input field.
- 通知頻度* (Notification Frequency): Dropdown menu with '1時間毎' (Every 1 hour) selected.
- ステータス* (Status): Dropdown menu with '無効' (Invalid) selected.

At the bottom of the form, there is a '保存' (Save) button highlighted with a red box. Above the form, there is a note: 'モニタリングポリシーを登録します。登録可能なポリシー数はシステム全体で100個までです。 ※システム全体で登録されているポリシー数は[すべてのグループ]の権限を持つ[監査ユーザ]で確認してください。'

ポリシー名 (必須)

ポリシー名を入力します。

モニタリングタイプ (必須)

モニタリングタイプを選択します。

【モニタリングタイプについて】

- メッセージ内容

テキストで送信されるメッセージをモニタリングする場合に選択します。

選択時は[キーワード]にモニタリングする文字列を入力します。

・添付ファイル名

添付ファイルのファイル名をモニタリングする場合に選択します。

選択時は[キーワード]にモニタリングする文字列を入力します。

・ファイル添付あり

ファイル送信をモニタリングする場合に選択します。ファイルが送信されると検知されます。

ファイルとはチャット画面でクリップアイコンとファイル名で表示されるデータとなります。

チャット画面でサムネイル表示される画像、動画、スタンプ、位置情報は含まれません。

キーワード

モニタリングするキーワードを入力します。

※1 つのポリシーに複数のキーワードを登録することはできません。

※英語を入力した場合、大文字と小文字は区別されます。[sample]と登録した場合、[Sample]という文字列が含まれるメッセージは検知されません。

API ユーザの投稿 (必須)

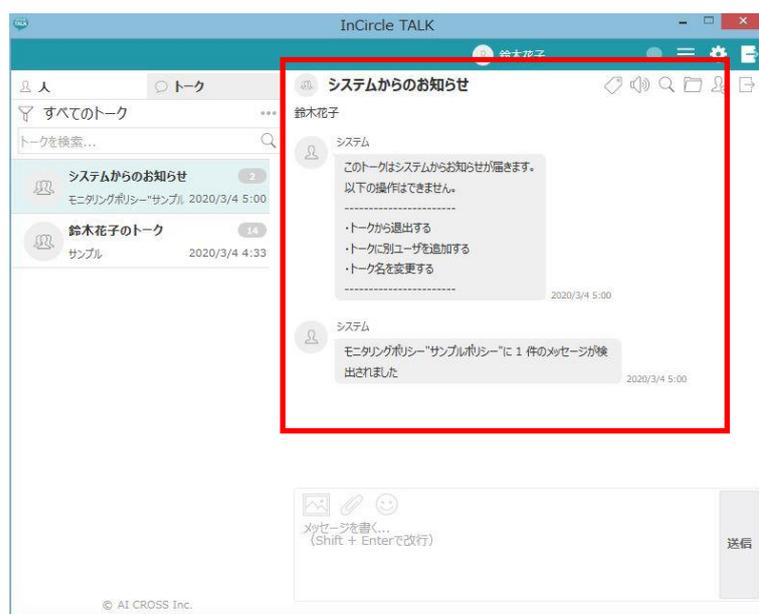
API ユーザが登録するメッセージをモニタリング対象とするかを選択します。

[含める]を選択すると、API ユーザの投稿はモニタリング対象となります。

[含めない]を選択すると、API ユーザの投稿はモニタリング対象となりません。

通知先ユーザ ID

検知情報の通知を受け取るユーザ ID を入力します。登録済みの標準ユーザまたは API ユーザのみ設定が可能です。通知は以下のようにシステムからメッセージが送信されます。



通知頻度

[通知先ユーザ ID]に指定したユーザへの通知頻度を選択します。

検知されたメッセージが 0 件の場合は通知されません。

ステータス

ステータスを選択します。

[有効]を選択すると、ポリシーが有効となりモニタリングが実行されます。

[無効]を選択すると、ポリシーが無効となりモニタリングが実行されません。

12.2. モニタリングポリシーの検索

メニュー[監査]>[モニタリングポリシー編集]を選択します。

検索ボックスにモニタリングポリシー名を入力し、[検索]ボタンを押下します。

The screenshot shows the InCircle management console interface. The browser address bar displays `http://localhost:8081/ic2-ct/configSystem`. The page title is "InCircle管理コンソール". The navigation menu on the left includes "監査", "検索・メッセージ出力", "出力ファイル一覧", "モニタリングポリシー登録", "モニタリングポリシー編集", "モニタリング結果一覧", and "システム". The "モニタリングポリシー編集" menu item is highlighted with a red box. The main content area is titled "監査 > モニタリングポリシー編集". It contains a search box with the placeholder text "ポリシー名を入力してください" and a "検索" button, both highlighted with a red box. Below the search box, there is a table of monitoring policies. The table has columns for "ポリシー番号", "ポリシー名", "ステータス", "登録ユーザ", and "検知数". One policy is listed: "4", "サンプルポリシー", "有効", "監査太郎", and "1". A "変更" button is next to the last entry. The system version is "version: 17.0.206.0 © AI CROSS Inc.".

12.3. モニタリングポリシーの編集

1. メニュー[監査]>[モニタリングポリシー編集]で編集するポリシーの[変更]を押下します。



2. モニタリングポリシー情報を変更し、[保存]ボタンを押下します。

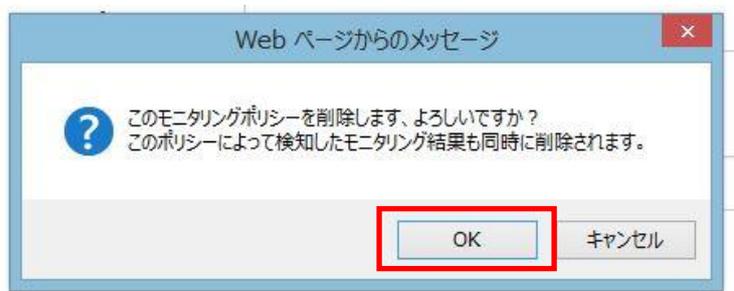


12.4. モニタリングポリシーの削除

1. モニタリングポリシーの編集画面にて[このモニタリングポリシーを削除する]をチェックし、[保存]を押下します。



2. 確認画面で[OK]を押下します。



12.5. モニタリング結果の確認

メニュー[監査]>[モニタリング結果一覧]画面にて検知された結果を確認します。

検索を実施する場合は、条件を指定し[検索]ボタンを押下します。

メッセージ出力を実施する場合は、条件を指定し[出力開始]ボタンを押下します。



期間

対象となるメッセージの期間を設定します。空の場合は全データが対象となります。

トーク名

対象となるトーク名を設定します。空の場合は全データが対象となります。

ポリシー番号

出力対象となるポリシー番号を設定します。空の場合は全データが対象となります。

ユーザ名

出対象となる送信ユーザのユーザ表示名称を設定します。空の場合は全データが対象となります。

画像、動画、添付ファイル・・・も出力する

メッセージ出力時にファイルを出力する場合は、チェックします。

※出力可能な対象データの合計は 1GB までです。1GB を超過する場合は、条件を絞り込んで再度[出力開始]ボタンを押下してください。

また、1 度に出力可能なメッセージ数は最大で 200 万メッセージまでです。200 万を超過する場合はエラーメッセージは表示さないため、200 万メッセージ以下となるように期間等の条件を設定し再度実行してください。

出力ファイルのダウンロードは [監査]> [出力ファイル一覧]画面から行ってください。

詳細は「11.3. 出力ファイルのダウンロード」を参照してください。